

第3章 研究の成果と課題

1. 研究の成果

今年度の研究の成果は、「自分づくりを支える生活プラン」を作成できたことである。日々の保育や行事などを振り返りながら、環境の構成や教師の援助などについて教師間で共通理解を深め、指導計画の見直しに反映させることができた。さらに、「なかよしウィーク」と「わくわくワールド」に焦点を当て事例検討を重ねてきた。その中で、2つの行事における幼児の自分づくりのプロセスを明らかにし、指導計画に位置づけることができた。

2. 課題

「わくわくワールド」と「なかよしウィーク」の事例検討を通して、その2つの行事中における幼児の自分づくり、つまりその幼児が経験していることを探ることはできた。そして、幼児の自分づくりの姿を学年ごとにまとめることで、自分づくりのプロセスが見えてきた。しかし、「わくわくワールド」や「なかよしウィーク」で経験したことによって、その後、幼児らはどのように変容していつているのかということについて、教師は十分に見とれなかった。そこで、発達の連続性という点から、今後、行事等を経た後の幼児の自分づくりの姿について探り、研究を深めていかなければならないと考えている。

3. 自分づくりを支える生活プラン

次ページより、今年度作成した「自分づくりを支える生活プラン」を掲載する。

平成23年度

自分づくりを支える
生活プラン

自分づくりを支える生活プラン目次

1. 3 歳 児 54 ページ
2. 4 歳 児 76 ページ
3. 5 歳 児 98 ページ
4. 健康と安全 120 ページ
5. 補助資料 130 ページ

幼児の姿

- ・幼稚園の生活がわからず戸惑い、身の回りの始末、排泄、衣服の着脱などは教師の援助を多く必要とする
- ・大声で泣いたり、教師から片時も離れなかったりして教師の手を必要とする幼児が多い
- ・気に入った場所を見つけたり、兄弟のいるクラスに出かけたりする幼児もいれば、友達や教師のすることをじっと見たり、しくしく泣いたりする幼児もいたり、様々である
- ・大勢で遊んだり、集まったりすることに抵抗がある幼児もいる
- ・母親の緊張が幼児に伝わり、不安な表情を見せる幼児もいる
- ・園では元気でも家庭に戻るとぐずったり、昼寝を多くしたりする

ねらい

- ・喜んで登園する
- ・担任やクラスに親しみをもつ
- ・教師に手伝ってもらったり、教えてもらったりしながら園での生活の仕方を知る

内容

- ・元気に登園する
- ・排泄、手洗い、ズックの履き替えなど、基本的な生活の仕方を知る
- ・園での大まかな一日の流れを知る
- ・教師や友達と一緒にいたり、遊んだりする
- ・教師や友達と一緒に牛乳を飲むことを楽しむ
- ・自分のクラスが「うさぎ組」であることを知ったり、教師の顔や名前、保育室の場所を覚えたりする
- ・靴箱やロッカーなどの自分のマークや場所を覚える
- ・幼稚園には生活するためにいろいろなきまりがあることを知る
- ・気に入った場所やお気に入りの遊具を見つけて遊ぶ
- ・あいさつや返事をする
- ・教師の話をお聞きとする
- ・まねっこ遊び（手遊び・指遊び）を楽しむ
- ・絵本や紙芝居を見る

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎一人一人の名前を呼びかけ、教師に安心感や親しみをもてるようにする
- ◎身の回りの始末や排泄、手洗いなどは、一緒にしながらやり方を教え、慣れさせるようにする
- ◎安定して生活できるように、それぞれの教師がかかわる場を決めておく
- 靴箱やロッカー、傘立て、引き出しにはマークをつけ、自分の場所が分かるようにしておく
- 園生活のリズムをつかみ、安心して過ごせるように、毎日の生活の大まかな流れを決めておく
- 一人一人が自分の遊びたい場所や気に入った遊具が見つけられるように、いろいろなコーナーを準備したり、遊具の種類や数をそろえておく
- 教師自ら「おはようございます」、「いただきます」、「さようなら」のあいさつをはっきりとし、よいモデルとなるようにする
- ◎一人一人の表情や身振りなどから幼児の思いを読み取るように気配りをする

意図的活動

- ・園での生活の仕方の指導
(トイレの使い方、手洗いの仕方、制帽やかばんのかけ方、靴箱の使い方、引き出しの使い方)

行事など

- ・入園式
- ・創立記念日
- ・こいのぼりのつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測
- ・春の遠足(親子遠足)

健康・安全

- ・トイレをすませた後や牛乳を飲む前には、手洗いすることを教える
- ・教師と一緒に手洗いをすることによって、手洗いの仕方を知る
- ・園でのトイレの使い方を知る
- ・時間を決めてトイレへ行くように声かけをし、排泄への自信をもたせたり、排泄の習慣を身につけさせたりする
- ・避難訓練(放送を静かに聞く、教師と一緒に避難する)
- ・身体計測(身体計測を受けることができる)

家庭との連携・地域との連携

- ・保護者に制帽やかばんのかけ方、引き出しの使い方などを理解してもらうために、幼児らと一緒に降園準備をしてもらう
- ・登降園時や連絡帳を通して一人一人の姿を具体的に伝え、保護者が安心感をもてるようにする
- ・母親となかなか離れられなかったり、泣きながら登園したりする幼児の保護者には、降園時に園での様子を具体的に伝える
- ・一人で排泄ができるように、家庭での様子を聞きながら援助の仕方を考える。また、園での援助の仕方を保護者にも伝える
- ・体の大きさ応じてかばんのひもの長さを調節すること、自分でズックがはけるようにかかるとにひもをつけることなど、個に応じたものを準備するように保護者に理解を促す
- ・春の遠足では親子でキャンパス内を歩き、保護者にも附属学校園の存在を知らせるとともに、キャンパス内でのきまりを伝える
- ・学年懇談会(一年の見通し、学年目標、ねらいを伝える)

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「チューリップ」、「ちょうちょ」、「ちいさないのち」、「小さな庭」、「そらとべあおむしくん」、「こいのぼり」
- ・絵本など・・・「あくしゅでギャツ」、「いっしょにあそぼ!」、「ここです!」
- ・紙芝居・・・「ごあいさつできた!」、「チューリップさんありがとう」
- ・素材・・・自由画帳
- ・用具・・・クレヨン
- ・自然・・・うさぎ、金魚、チューリップ、タンポポ

幼児の姿

- ・連休中の疲れが残っていたり、気候の変化から体調を崩したりする幼児もいる
- ・登園を渋ったり、保育室で泣いていたりする幼児もいるが、少しずつ自分のしたいことを見つけて遊ぶ姿が見られるようになってくる
- ・一日の大まかな流れがわかり、牛乳を飲むことや絵本や紙芝居を見ることを楽しみにする幼児が多くなる。
- ・友達に目が向いてきて、わざと嫌がられることをして反応を見たり、友達の持っているものを取ったりしていざこざが起きる
- ・周りの友達存在を意識し始める
- ・製作コーナーで、紙や空き箱を用いて切ったり、貼ったりしながら好きなものをつくって楽しんでいる

ねらい

- ・手伝ってもらったり教えてもらったりしながら、安心して過ごす
- ・自分のしたい遊びややってみたいことを見つけてする
- ・教師や友達と一緒に遊ぶ

内容

- ・登降園時の始末や準備を教師と一緒にしてみようとしたり、できるところは自分でしたりする
- ・遊具や用具の使い方（マジック、下敷き紙、セロハンテープ）を知る
- ・教師や友達と一緒にいたり、遊んだりする
- ・自分の好きな遊具や用具とかかわって楽しむ
- ・気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・こいのぼりを見て、風に気付く
- ・教師や友達と一緒に過ごしながら、生活や遊びに必要な言葉やきまりを知る
- ・あいさつや返事をする
- ・先生の話をお聞きとする
- ・してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする
- ・教師や友達と一緒に絵本や紙芝居を見たり、歌を歌ったりする
- ・身近な素材に触れ、つくったりかいたりすることを楽しむ
- ・お母さんのプレゼントをつくったり、お母さんが登場する話を聞いたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎身の回りの始末などを自分でしようしている時には、そばで見守ったり励ましたりして、時間がかかっても待つようにする
- ◎幼児の遊び方や動きを受けとめながら安心感をもたせるとともに、危険なことや友達に迷惑をかけることは慎まなければいけないことを伝える
- ◎遊ぶ楽しさや教師や友達と一緒にいる楽しさを感じることができるよう、教師も遊びに加わり、盛り上げたり幼児同士の仲立ちをしたりする
- ◎遊びの中で教師が「貸して、入れて、ありがとう」などの言葉を使ったり、順番を守ったりしながら、生活に必要なきまりや言葉のあることに気付かせる
- 身近な素材に触れて好きなものがつくれるように、幼児が扱いやすい素材（空き箱、包装紙など）を製作コーナーに置いたり、教師が楽しんでつくっている様子を見せたりする
- 大好きなお母さんに感謝の気持ちがもてるように、母の日を話題にしたり、お母さんが出てくる絵本や紙芝居などを準備したりする

意図的活動

- ・ 小学校の運動会見学
- ・ 製作（こいのぼり、母の日のプレゼント、壁面掲示）

行事など

- ・ 歯科検診
- ・ 内科検診
- ・ 聴力検診

健康・安全

- ・ 歯科検診、内科検診、聴力検診（検診を受けることができる）

家庭との連携・地域との連携

- ・ 疲れや気候の変化で体調を崩したり、連休明けの登園を渋ったりする姿が見られるので、一人一人の様子を丁寧に見ながら、家庭との連絡を密に図っていくようにする
- ・ 友達への興味が増すと同時にいざこざも多くなるので、保護者にはその経緯や対応について説明し、双方の保護者との信頼関係を大切にする

補助資料

- ・ 歌、手遊びなど・・・「こいのぼり」、「すきすきお母さん」、「ことりのうた」、「一本と一本で」、「おはなしゆびさん」、「とうさんゆび どこです」、「のねずみ」
- ・ 絵本など・・・「ころわんとこいのぼり」、「みいたんのほうけん」、「ころわんとふわふわ」、「だあれだあれ」、「ころわんはだんごむし」、「みつばちのミレイユ」、「ぎゅっ」
- ・ 紙芝居・・・「きょうはだいじなだいじなひ」、「するするおかあさん」
- ・ 素材・・・包装紙、画用紙
- ・ 用具・・・セロハンテープ、マジック
- ・ 自然・・・うさぎ、金魚

幼児の姿

- ・園生活の仕方がわかり、少しずつ自分から身の回りのことに取り組むが、個人差がある
- ・教師から離れて自分から好きな環境にかかわったり、遊びを見つけたりして楽しんでいる
- ・草花を摘んだり、生き物（カタツムリ、ダンゴムシ、アリ）を見つけたりして喜んでいる
- ・友達への興味も広がり、同じ遊びをして楽しむようになってくるが、自分の思いが通らないと大声で泣いたり、友達をたたいたりすることも増えてくる
- ・教師の真似をして泣いている友達をなぐさめたり、「どうして泣いているの？」と気にしたりする
- ・みんなで集まって絵本を見たり、音楽に合わせて動いたりすることを楽しむようになる
- ・自分のイメージを表そうとして製作をする幼児もいる

ねらい

- ・生活の流れがわかり、身の回りのことを自分でしてみようとする
- ・教師や友達と触れ合いながら、好きな遊びを楽しむ
- ・身近な遊具や素材に親しみながら、自分のしたい遊びややってみようとする
- ・梅雨の自然に関心をもって見たり、触れたりする

内容

- ・登降園時の始末や準備の仕方がわかり、自分なりにやってみようとする
- ・裸足になって土や泥の感触を味わう
- ・雨具の始末の仕方を知る
- ・教師や友達のしていることに気付く
- ・教師や友達と一緒にいることを楽しむ
- ・遊具や用具の安全な使い方（蹴ったり投げたりしないこと、はさみの持ち方など）を知る
- ・自分の好きな遊具や用具とかかわって楽しむ
- ・気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・雨音に気付いたり、日ざしの強さを感じたりする
- ・水の感触を楽しみながら水遊びをする
- ・してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする
- ・教師や友達と一緒に過ごしながら、生活や遊びに必要な言葉やルールを知る
- ・教師と一緒に絵本や紙芝居を見たり、歌を歌ったりする
- ・身近な素材に触れ、つくったりかいたりすることを楽しむ
- ・身近な素材を使って父の日のプレゼントをつくる

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる楽しさが感じられるように、教師も遊びの中に入って遊びを盛り上げたり、幼児同士の仲立ちをしたりする
- ◎幼児の遊びや動きを受け止めながら、安心感をもたせるとともに危険なことや他に迷惑をかけることを慎まなければならないことを伝える
- ◎いざこざでは必要に応じて互いの思いを代弁するようにする
- ◎幼児が自分の思いを態度や言葉で伝えようとしている時は、表情や身振りなどから思いを察したり、問いかけたりする
- ◎生活に必要なきまりや言葉があることに幼児らが気付いていけるように、教師自らが生活に必要な言葉を使ったり、順番を守ったりする
- 身近な素材に触れて好きなものがつくれるように十分な量を製作コーナーに置いておいたり、要求に応じて出してきたりする
- 水遊びを楽しめるようにプールを出したり、空容器などを準備したりする
- ◎雨音や太陽の日ざしに教師自身が敏感に反応したり、幼児の気づきに共感したりする

意図的活動

- ・製作（父の日のプレゼント）
- ・砂遊び

行事など

- ・緊急お迎え訓練
- ・体重測定

健康・安全

- ・雨で濡れた鞆やコート、泥で汚れた運動服の始末の仕方を知る
- ・弁当の準備の仕方や弁当を食べる時のマナーを知る
- ・弁当を自分で食べる
- ・砂遊び後の着替え方を知り、手伝ってもらいながらやってみる
- ・砂遊び後には、手洗いやうがいをする
- ・緊急お迎え訓練（座って静かに放送を聞く、担任の指示に従って行動する）
- ・体重測定（計測の仕方、計測場所での待ち方）

家庭との連携・地域との連携

- ・着替え袋の中を夏用に変えるよう保護者に伝える
- ・砂遊びや水遊びをする時に下着を替えることが多くなる幼児もいるので、下着を多めに補充してもらう
- ・友達とのいざこざが多くなるので、保護者にはその経緯や対応について説明し、双方の保護者との信頼関係を大切に
にする
- ・学年懇談会（着替え、弁当についてのお願い、いざこざの見方やとらえ方）

補助資料

- ・手遊びなど・・・「ひっこしかたつむり、「かたつむり」、「めだか」、「あめふり」、「かえるのうた」
- ・絵本など・・・「おとうさん」、「ダンゴムシのころちゃん」、「かたつむりののんちゃん」、「ぴょーん」、
「こぐまちゃんのみずあそび」、「どろんこ どろんこ！」
- ・紙芝居・・・
- ・素材・・・空き箱
- ・用具・・・のり、下敷き紙、製作タオル
- ・自然・・・うさぎ、金魚、ダンゴムシ、カタツムリ、あじさい

幼児の姿

- ・あいさつをしたり、かかれたりなど一人一人表現は違うが教師に親しみを感じ、安心して登園する幼児が増える
- ・身の回りの始末や衣服の着脱などは援助を必要とする幼児もいるが、中には自分でやってみようという気持ちが出てくる幼児もいる
- ・暑い日には、水遊びを楽しむ幼児が多い。水がかかるのは怖いけれどプールに入りたい幼児、水がかかることを構わずに水遊びをする幼児、着替えるのが面倒な幼児などがいて様々である
- ・友達のしていることに興味をもち、気に入った友達と一緒に遊ぼうとする幼児が増えてくるが、友達とのかかわり方がわからず、いざこざが生じやすい
- ・七夕のつどいに初めて参加する。つどいを楽しみにしている幼児が多いが、つどいが始まると何がおこっているのかわからないような表情で周りの様子を見ている幼児もいる

ねらい

- ・生活の中で身の回りの始末をできるだけ自分でしようとする
- ・教師や友達と触れ合って遊ぶことを楽しむ
- ・水遊びを楽しむ
- ・七夕について興味をもつ

内容

- ・身の回りのことは自分でしようとする
- ・水遊びの身支度や後始末について知る
- ・生活や遊びに必要なルールを知り、守ろうとする
- ・教師や友達と一緒に過ごすことを楽しむ
- ・友達の存在や思いを気付く
- ・友達の名前を覚え、気に入った友達と遊ぶ
- ・自分の好きな遊具や素材、用具とかかわって楽しむ
- ・この時期ならではの遊び（水鉄砲、色水、プールなど）を楽しむ
- ・短冊や笹飾りをつくったり、七夕のつどいに参加したりする
- ・雨音に気付いたり、日ざしの強さを感じたりする
- ・教師や友達に喜んで話をしたり、聞いたりしようとする
- ・してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする
- ・身近な素材に触れ、かいたりつくったりすることを楽しむ
- ・好きなものになって遊ぶ
- ・音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 先生がモデルとなってかかわり方を示したり、具体的な場面「入れて」、「貸して」など状況に応じた言葉を伝えたりしていく
- ◎いざこざでは遊びが続いていくようであれば見守り、そうでなければ互いの思いを代弁するようにしていく
- プールに入る手順や水遊びが終わった後の始末の仕方については、幼児が自分でしてみようと思えるように幼児の動線を配慮して環境を構成する
- ◎プールの着替えの時には、プール、テラス、保育室に一人ずつ教師が位置づき、安全面に配慮したり、個に応じて着替えの援助をしたりする
- ◎水遊びに抵抗がある幼児には、無理に誘わず少しずつ水に親しめるようにかかわる
- ◎一人一人が自分の思いやイメージを大切にしながら遊びに取り組めるように、遊びに必要なものを随時準備する
- ◎七夕に関する絵本や歌を準備したり、みんなで笹飾りをつくる機会を設けたりして、七夕のつどいを楽しめるような雰囲気をつくる

意図的活動

- ・水遊び
- ・製作（短冊、七夕飾り）
- ・持ち物の整理や保育室の掃除

行事など

- ・終業のつどい
- ・七夕のつどい
- ・避難訓練
- ・足形とり

健康・安全

- ・雨で濡れた鞆やコートなどを教師に手伝ってもらいながら始末する
- ・水遊び後の水着の始末や着替えを知り、教師に手伝ってもらいながらやってみる
- ・勝手に一人でプールに入ってはいけないこと、ふざけたりするといけないことを知る
- ・水遊びの前には準備体操を教師と一緒にやる
- ・避難訓練（放送を静かに聞く、教師と一緒に避難する）
- ・足形とり

家庭との連携・地域との連携

- ・水遊びができるように、持ち物を事前におたよりで知らせる
- ・暑さのために疲れやすく体調を崩しやすいので、家庭でも生活リズムを整えてもらうとともに、登降園時に幼児の健康状態について連絡をこまめに取り合う
- ・個別懇談（家庭での生活リズムなどについて情報を得る、1学期の成長を喜び合う、2学期へ向けての課題）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「きらきら星」、「たなばた」、「しゃぼんだま」、「うみ」
- ・絵本など・・・「えっちゃんのながぐつ」、「ころわんとしろいくも」、「うさぎちゃんうみへいく」
- ・紙芝居・・・「くじらくん」、「バナナのくにのバナナンひめ」、「みつごのおばけのパピ・プペ・ポー」
- ・素材・・・空容器
- ・用具・・・セロハンテープ、マジック
- ・自然・・・うさぎ、金魚

幼児の姿

- ・ 2学期になって生活リズムが取り戻せず、母親と離れられなかったり、ぐずったりする幼児もいる
- ・ 水遊びやプール遊びの準備や後始末などの仕方がわかるようになり、自分でしようとする幼児の姿が見られる
- ・ 水遊びやプール遊びに慣れてきて、水遊びを十分に楽しむ姿が見られる
- ・ 1学期していた遊びをくりかえしたり、友達との触れ合いを楽しんだりしている
- ・ バッタやセミなどの虫や、セミの抜け殻などを見たり、触ったりしている

ねらい

- ・ 園生活のリズムを取り戻し、安定して過ごす
- ・ 教師や友達と一緒にのびのびと体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・ 教師や友達と触れ合って遊ぶことを楽しむなかで自分の思いを表現しようとする
- ・ 園庭の虫や生き物に触れ親しみながら、季節の変化を感じる

内容

- ・ 1学期の生活を思い出したり、友達の様子を真似たりしながら生活リズムを取り戻す
- ・ 教師や友達に手伝ってもらいながら、衣服の着脱など身の回りの始末は自分でしようとする
- ・ したい遊びや気に入った場所を見つけて遊ぶ
- ・ 園庭、プール砂場などの戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ
- ・ 1学期に慣れ親しんだ歌を歌ったり、新しい歌を覚えたりして、みんなと一緒にいる雰囲気を楽しむ
- ・ のびのびフェスティバルを楽しみにし、それに向けての活動に喜んで参加する
- ・ 夏休みに経験したことを教師や友達に話そうとする
- ・ 生活やごっこ遊びのなかでの言葉のやりとりの楽しさに気付く
- ・ 困ったことや楽しかったこと、感じたことを素直に教師や友達に話す
- ・ 音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろなものを体表現したりする
- ・ いろいろな素材や用具を使って行事に必要なものをつくる
- ・ 園庭の虫や草花に興味をもち、かかわる

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎運動着の着脱や始末など、自分でしようとする意欲を受け止め、一人一人の育ちに合わせてそれらが身に付くようにする
- 休息や水分の補給ができるような環境を整えておき、習慣づくようにしていく
- 自分の好きな遊びを見つけて安心して遊ぶことができるように、1学期に遊んでいた遊具や素材を用意しておいたり、一人一人に応じた場所をつくったりする
- ◎のびのびフェスティバルなどの2学期の楽しい行事を話題に取り上げたり、4,5歳児の演技や競技を見たりしてこれからの生活に期待がもてるような雰囲気をつくる
- ◎一人一人の話をじっくり聞き、話そうとする気持ちを大切にしていく
- ◎音楽に合わせて体を動かしたり、走ったりすることが楽しいと感じられるように、教師自身が楽しんで取り組むようにする
- リズム表現へのイメージを膨らませたり、楽しんで走ったりできるように、面や小道具などを準備する
- 捕まえた虫などをみんなで見たり、触れたりできる場所をつくったり、保育室をみんなでつくった虫で飾ったりして季節の変化を感じられるようにする

意図的活動

- ・水遊び
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動（表現遊び、運動遊び、ディズニー体操）
- ・製作（壁面、のびのびフェスティバルの小道具）

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測
- ・教育実習

健康・安全

- ・水遊び後の水着の始末や着替えを確認し、教師に手伝ってもらいながら自分でやろうとする
- ・勝手に一人でプールに入ってはいけないこと、ふざけたりするといけないことを確認する
- ・水遊びの前には準備体操を教師と一緒にやる
- ・水分補給の必要性を知り、水分補給をする
- ・汗の始末の大切さを知る
- ・避難訓練（

（	したい遊びの時間に火災が発生した場合の避難方法を知る	）
	ケヤキコースの避難の仕方を知る	
	園庭に避難する時はズックを履く	

）

家庭との連携・地域との連携

- ・暑さのために疲れやすく体調を崩しやすいので、家庭でも生活リズムを整えてもらうとともに、登降園時に幼児の健康状態について連絡をこまめに取り合う
- ・学年懇談会（2学期のねらいや保育内容を伝える）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「ぶんぶんぶん」、「おつかいありさん」、「くいしんぼうのゴリラ」、「園歌」
- ・絵本など・・・「コロちゃんのかいすいよく」、「とんぼのあかねちゃん」、「ありんこちいちゃん」、「ありこちゃんのおてつだい」
- ・紙芝居・・・「ワンタくんのしょうぼうし」、「バナナがいっぱい」、「ありんこありはくいしんぼう」、「ぶどうだいすきぱくんちゆるん！」
- ・素材・・・牛乳パック
- ・用具・・・めうち
- ・自然・・・うさぎ、金魚、アリ、バッタ

幼児の姿

- ・運動服に着替えてから遊ぶという生活スタイルが身に付いてきている。しかし、着替えのスピードには個人差があり、着替えに時間がかかって遊び込めない幼児もいる
- ・周囲の様子がわかるにつれて不安を感じて登園をしぶる幼児も出てくる
- ・物や場所の取り合いでいざこざが起きるようになってきている。そこではこれまであまりかかわりがなかった幼児達のかかわりが見られる
- ・のびのびフェスティバルで踊った曲に合わせて体表現をしたり、他学年がつくった場で遊んだりして、年上の友達とかかわる姿も見られる
- ・落ち葉や木の葉などを拾って喜ぶ幼児が多い

ねらい

- ・教師や友達と一緒に、のびのびと体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・教師や友達と触れ合いながら遊ぶ楽しさを味わう
- ・のびのびフェスティバルなどの行事を楽しみにし、喜んで参加する
- ・秋の虫や植物に興味をもってかかわる

内容

- ・教師や友達に手伝ってもらいながら、衣服の着脱などの身の回りの始末を自分でする
- ・戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ
- ・音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろなものを体表現したりする
- ・自分のイメージしたものになったり、見立てたりして遊ぶ
- ・新しい歌を覚えたり、簡単なルールのある遊びをしたりして、みんなと一緒にいる雰囲気を楽しむ
- ・友達の存在や思いに気付く
- ・教師や友達との言葉のやりとりを楽しみ、自分の感じたことやしてほしいことを伝えようとする
- ・のびのびフェスティバルを楽しみにし、それに向けての活動に喜んで参加する
- ・「順番」「並ぶ」などみんなで活動する時のルールの言葉を知る
- ・自分のイメージしたものになったり、見立てたりして遊ぶ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎運動着の着脱や始末など、自分でしようとする意欲を受け止め、一人一人の育ちに合わせてそれらが身に付くようにする
- 休息や水分の補給ができるような環境を整えておき、習慣づくようにしていく
- 自分の好きな遊びを見つけて安心して遊ぶことができるように、1学期に遊んでいた遊具や素材を用意しておいたり、一人一人に応じた場所をつくったりする
- ◎のびのびフェスティバルなどの2学期の楽しい行事を話題に取り上げたり、4,5歳児の演技や競技を見たりしてこれからの生活に期待がもてるような雰囲気をつくる
- ◎一人一人の話をじっくり聞き、話そうとする気持ちを大切にしていく
- ◎音楽に合わせて体を動かしたり、走ったりすることが楽しいと感じられるように、教師自身が楽しんで取り組むようにする
- リズム表現へのイメージを膨らませたり、楽しんで走ったりできるように、面や小道具などを準備する
- 捕まえた虫などをみんなで見たり、触れたりできる場所をつくったり、保育室をみんなで作った虫で飾ったりして季節の変化を感じられるようにする

意図的活動

- ・のびのびフェスティバルに向けての活動（体表現、運動遊び、ディズニー体操）

行事など

- ・のびのびフェスティバル
- ・視力検査

健康・安全

- ・衣替えについて伝える
- ・着替え袋の中身を気候に合わせて交換してもらうように伝える
- ・視力検査（視力検査の仕方を知る）

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのびフェスティバルの練習のため、疲れていたり、緊張していたりするので家庭で十分に休養をとったり、スキンシップをとったりするように伝える。また、のびのびフェスティバルを楽しみに迎えられるように、幼児の様子について連絡を取り合っていく

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「キャベツのなかから」、「5つのメロンパン」、「どんぐりころころ」、「やおやおみせ」
- ・絵本など・・・「ころわんとちくちくもじょ」、「いもほり」
- ・紙芝居・・・「コロちゃんの遠足おおさわぎ」、「いものきょうだい」、「おべんともって」、「おんなじおんなじ」
- ・素材・・・粘土
- ・用具・・・粘土板
- ・自然・・・うさぎ、金魚

幼児の姿

- ・身の回りのことやかたづけなどを自分でしようとする幼児が増えてきている
- ・一人がかたづけたいを頑張りたいという思いからいざこざが起きるようになる
- ・コートやジャンパーの着脱に時間がかかる幼児が多かったり、自分でできない幼児もいる
- ・当番活動を楽しみに待つようになる
- ・周囲の様子がわかるようになって不安を感じ、登園をしぶる幼児の姿もまだ見られる
- ・友達と同じイメージをもって、アニメのキャラクターやお姫様などになりきってごっこ遊びを楽しむ幼児が増えてくる
- ・みんなと一緒に遊ぶことを楽しめる幼児が増えてくる
- ・新聞紙を細く巻いたスティックをヒーローごっこの剣にしたり、アニメのキャラクターのアイテムにしたりして楽しんでいる
- ・落ち葉や木の実を集めて、思い思いに遊びに取り入れている

ねらい

- ・冬に向けて必要な生活の仕方を知り、自分でしようとする
- ・教師や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ
- ・遊びに必要なものをつくったり、つくったものを遊びに取り入れたりする
- ・4、5歳児に親しみをもち、触れ合いを楽しむ

内容

- ・気温の寒暖に応じて衣服の調節をすることを知る
- ・薄着の習慣を身に付ける
- ・リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ
- ・自分のイメージしたものや好きなものになって遊ぶ
- ・身近な素材を使ってイメージしたものをつくろうとする
- ・4、5歳児との触れ合いを楽しんだり遊びを教えてもらったりする
- ・みんなと一緒に同じ遊びを楽しむ
- ・遊びや日常の会話の中で、自分の思いを教師や友達に言葉で伝える
- ・遊びの中での言葉のやりとりを楽しむ
- ・戸外に出て少し冷たくなってきた風や土の冷たさを感じる
- ・木の実や落ち葉を集めたり、それを使って遊んだりする
- ・チューリップの球根を植えて生長を楽しみにする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎それぞれの幼児の体調やその日の気候に応じて、衣服を調節することに気付くよう声をかける
- ◎幼児の遊びに積極的に入り、一緒に遊んだり必要に応じてイメージを伝えたりしながら、ごっこ遊びの楽しさが味わえるようにする
- ◎イメージしたものやつくりたいものを教師と一緒につくったり、つくってあげたりする
- グループでの活動や簡単なルールのある遊びなど、友達と一緒に楽しめる活動を取り入れる
- 4、5歳児の遊びに参加する機会をつくる
- ◎異年齢の友達とのかかわりでは、その幼児なりにかかわろうとする姿を応援する
- 芽が出るのを楽しみに待てるように、すぐ目に触れることができる場所にチューリップの球根を植える
- 秋の話題を取り上げたり、幼児らが拾ってきたものを使って遊ぶ機会をつくったりして、秋を楽しめるような雰囲気をつくる

意図的活動

- ・簡単なルールのある遊び
- ・チューリップの球根植え
- ・楽器遊び
- ・劇遊び

行事など

- ・金箔芋茶会
- ・聴力検査
- ・避難訓練
- ・体重測定
- ・食育指導

健康・安全

- ・聴力検査（聴力検査の仕方を知る）
- ・避難訓練（かしわぎコースでの避難の仕方を知る）
- ・体重測定（静かに待つ、自分の順番が来たら名前を言う）
- ・教師や友達と一緒に旬の果物を食べることで、食べる楽しさやおいしさを感じる

家庭との連携・地域との連携

- ・防寒具を着てくる幼児が増えてくるので、フックにかけやすいようかけひもをつけることをお願いする
- ・防寒具のボタンやファスナーの開閉を手伝ったり、自分でしようとする姿を見守ったりするようお願いする
- ・金箔芋茶会での身支度（白い靴下、襟付きの洋服）をお願いする
- ・学年懇談会（2学期の遊びの姿から幼児が学んでいること、つまずきやいざござ）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「やきいもグーチーパー」、「おもちゃのチャチャチャ」、「楽しいね」、「あたまかたひざポン」
- ・絵本など・・・「おおかみと7ひきのこやぎ」、「おおきなかぶ」、「さんびきのやぎのがらがらどん」
- ・紙芝居・・・「ぱんやおうさま」、「七五三おめでと〜う」、「にげたくれよん」
- ・素材・・・新聞紙
- ・用具・・・
- ・自然・・・うさぎ、金魚、チューリップの球根

幼児の姿

- ・防寒具の着脱を手伝ってもらいながらも自分でやろうとしている
- ・教師や友達と一緒に手洗いやうがいをしている
- ・お姫様ごっこやヒーローごっこなどを通してなりきる楽しさや場を共有したり、場をつくったりする楽しさを味わっている
- ・いざごぎでは互いの思いを聞いたり、なぐさめたりして、いざごぎを仲裁する幼児もいる
- ・同じ絵本や紙芝居を繰り返し見ることを楽しんでいる
- ・クリスマスのつどいで、初めて“練習をして人に見せる”という経験をする
- ・水栽培の球根がどうなっているかを確認したり、11月末に植えたチューリップの球根に関心をもったりしている

ねらい

- ・教師や友達と一緒にクリスマスやおもちつきの雰囲気を楽しむ
- ・冬休みがあることを知り、楽しみに待ったり、新年を迎える準備をしたりする
- ・イメージを膨らませながらいろいろな表現をして遊ぶ

内容

- ・暖房器具のまわりでは安全に気を付けて遊ぶ
- ・手洗いの時には腕まくりをしたり、よく水気を切ったりすることを知る
- ・教師や気の合う友達とごっこ遊びを楽しむ
- ・困ったり、泣いたりしている友達を見て手助けしたり、なぐさめたりする
- ・気に入った絵本や紙芝居の物語に親しみ、繰り返し見たり、聞いたりすることを楽しむ
- ・自分の思いを教師や友達に言葉で伝える
- ・遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ
- ・自分のイメージしたものや好きなものになってごっこ遊びをする
- ・身近な素材を使ってクリスマスにちなんだ飾りをつくる
- ・クリスマスにちなんだ歌を歌ったり、曲に合わせて楽器をならしたりする
- ・水栽培をして、球根の生長を楽しむ
- ・クリスマスや正月に関心をもち、もちつきやクリスマスのつどいなどの行事に喜んで参加する
- ・保育室を掃除したり、遊具を整頓したりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎暖房器具の近くでは安全に気を付けて遊ぶように声をかけ、火の怖さを伝える
- ◎換気をする意味を伝えながら、換気をする
- ◎いざごぎが生じた時には、お互いの状況に気付いたり、自分の思いを表現したりできるように仲立ちをする
- ◎遊びに必要な言葉のやりとりを見守り、伝わっていないところを教師が仲立ちをしたりして自分の思いを言葉で表現できるようにする
- ◎遊びの中に積極的に入り、イメージがより膨らむように雰囲気盛り上げたりアイデアを出したりする
- ◎友達と同じことをする楽しさが味わえるようにみんなで歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする
- もちつき大会やクリスマスのつどいなど、この時期ならではの行事に喜んで参加できるようにクリスマスにちなんだBGMを流したり、話題にとりあげたりする
- 球根の成長を楽しみに待てるように、すぐに目に触れることができる場所に水栽培した球根を置く
- 2学期を振り返ったり、3学期に期待をもったりしながら生活できるように、折に触れて話題として取り上げたり保育室の整頓をする機会を設けたりする

意図的活動

- ・クリスマスのおどいに向けての活動
- ・水栽培
- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・製作（トナカイ、クリスマスツリーなど）
- ・持ち物の整理や保育室の掃除

行事など

- ・終業のおどい
- ・もちつき
- ・クリスマスのおどい

健康・安全

- ・手洗いやうがいの方法とその大切さを知って、教師や友達と一緒にやる
- ・冬休みの過ごし方に関する話を聞く

家庭との連携・地域との連携

- ・コートを着てくる幼児が増えてくるので、かけやすいようにかけひもをつけることをお願いする
- ・ボタンやファスナーの開閉を手伝ったり、自分でしようとする姿を見守ったりするようお願いする
- ・薄着にしてコートなどで調節することを伝える
- ・着替えの負担がないように着脱に手がかるものは避けてもらうように伝える
- ・活動しやすいように、袖の長さに配慮してもらう
- ・個別懇談（一人一人の遊びの中での学び、生活習慣、3学期に向けての課題）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「あわてんぼうのサンタクロース」、「赤鼻のトナカイ」、「もちつき」、「お正月」
- ・絵本など・・・「くまじいちゃんのクリスマス」、「さんびきのくま」
- ・紙芝居・・・「どうぞのいす」、「くまのマックのプレゼント」
- ・素材・・・色画用紙、モール
- ・用具・・・はさみ
- ・自然・・・うさぎ、金魚、チューリップの球根、水栽培の球根

幼児の姿

- ・冬休み明け、ほとんどの幼児は生活のリズムを取り戻しているが、中にはちょっとしたことで泣いてしまったり、玄関からなかなか入って来なかったりする幼児もいる
- ・家から持って来たカルタやコマで楽しむ幼児がいる
- ・遊具や素材などを自分なりに工夫して使い、遊びに取り入れようとする
- ・鈴やタンバリンなどの楽器をならすことに興味をもっている幼児が、知っている曲に合わせてならすことを楽しんでいる
- ・絵本のお話をもとに、劇遊びをすることを喜んでいる
- ・雪が積もると、戸外で雪遊びやそり遊びを楽しむ幼児が多い

ねらい

- ・教師や友達と共に生活する楽しさを味わう
- ・したい遊びや伝承遊びなど、いろいろな遊びを楽しむ
- ・イメージを膨らませながらいろいろな表現を楽しむ
- ・日本の伝統的な行事に関心をもつ
- ・冬の自然に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶ

内容

- ・寒さに負けず元気よく過ごす
- ・雪遊びの身支度や後始末を自分でしようとする
- ・身近な遊具や用具、素材などを自分なりに工夫して使ったり、遊びに取り入れられたりする
- ・正月遊びなどの伝承遊びをする
- ・絵本や紙芝居の繰り返しの言葉やストーリーに関心をもち、聞く
- ・曲に合わせて歌ったり、楽器でいろいろなリズム打ちをしたりして楽しむ
- ・遊びに必要なものをつくったり、つくったものを使ったりしながらイメージを膨らませる
- ・困ったり泣いたりしている友達を手助けしたり、なぐさめたりする
- ・興味のあるお話に合わせて劇遊びをする
- ・のびのび表現会について知り、期待しながら待つ
- ・氷や雪に触れたり、そり遊びを楽しんだりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎思い切り体を動かして遊ぶことができるように教師が率先して戸外に出て遊ぶ
- ◎雪遊びの身支度や後始末の仕方をわかりやすく教えながら、自分でできる場所やしようとしているところを認める
- ◎幼児が楽しんで表現する姿を大切にしながら、楽器を大切に扱えるように持ち方を教える
- ◎教師も一緒に演じたり、雰囲気盛り上げるような曲をならしたりして、劇遊びを楽しめるようにする
- 劇遊びを楽しめるように、面や小道具などを準備しておく
- ◎のびのび表現会について知らせ、自分なりに取り組もうという思いがもてるように、教師自らが楽しんで取り組む姿勢を見せる
- いろいろな雪遊びが楽しめるように、そりや絵の具、空容器などをいつでも使えるように置いておく
- ◎教師自身敏感に季節の移り変わりに気付き、言葉や態度で伝えたり、幼児の発見と一緒に驚いたりする

意図的活動

- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・製作（壁面掲示、鬼の面）
- ・正月遊び

行事など

- ・始業のつどい
- ・身体計測
- ・避難訓練

健康・安全

- ・身体計測（静かに待つ、自分の順番が来たら名前を言う）
- ・避難訓練（地震について知る、地震が起きた時には教師の指示を聞き、一緒に行動することを知る）

家庭との連携・地域との連携

- ・学年懇談会（3学期のねらいや保育内容、のびのび表現会について）
- ・のびのび表現会にむけての活動では、好きな役を選べなかったり、お面をつけたりすることに抵抗を示したりする幼児がいる。家庭と連携しながら、幼児が安心して活動に取り組めるよう配慮する

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「やぎさんゆうびん」、「ゆき」、「まめまき」
- ・絵本など・・・「しょうほうじどうしゃじぶた」、「ておくろ」、「おなかのなかにおにがいる」
- ・紙芝居・・・「くまくんはみかんがきらい?」、「たべてみたいなおほしさま」
- ・素材・・・タフロープ
- ・用具・・・
- ・自然・・・うさぎ、金魚、チューリップの球根、水栽培の球根

幼児の姿

- ・かぜや感染症などが流行し始め、体調を崩す幼児が出てくる
- ・初めてののびのび表現会を楽しみにする幼児が多い
- ・のびのび表現会の練習を楽しみにする幼児は多いが、いつもの生活と違うため、些細なことで泣いたりいざこざになったりすることが多い
- ・合奏の練習では、音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、友達と同じ楽器を使ったりすることを楽しんでいる
- ・劇の練習では、教師や友達と一緒に登場人物になりきったり、友達のしていることを見たりすることを喜んでいる幼児もいれば、気恥ずかしさが先に立って十分に楽しめない幼児もいる
- ・初めてののびのび表現会では、家族の人に見てもらい、「上手だったね」と誉められて自信をもった幼児が多い
- ・のびのび表現会がきっかけとなり、行動範囲が広がった
- ・プレイルームに飾られた雛壇飾りを喜んで見る幼児がいる
- ・戸外でのびのびと雪や氷に触れて遊ぶ幼児が多い
- ・水栽培の花が咲き始めたことで、その様子に関心をもって見ている幼児がいる

ねらい

- ・自分なりに自信をもってのびのびと生活を進めていこうとする
- ・戸外でのびのびと遊ぶことを楽しむ
- ・のびのび表現会を楽しみにし、練習に喜んで取り組む
- ・いろいろな表現をしながらイメージを膨らませる
- ・日本の伝統的な行事に関心をもつ
- ・身近な自然の移り変わりに目を向ける

内容

- ・全身を使った遊びを十分にし、寒さに負けず元気よく過ごす
- ・自分なりに生活の見通しをもつ
- ・身近な遊具や用具などを自分なりに工夫して使ったり、遊びに取り入れれたりする
- ・自分の思いを言葉で表現しようとする
- ・曲に合わせて歌ったり、楽器でいろいろなリズム打ちをしたりする
- ・なりたいものになり、ごっこ遊びを楽しむ
- ・遊びに必要なものをつくったり、つくったものを使ったりしながらイメージを膨らませる
- ・気の合う友達とイメージや思いを共有しようとする
- ・遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ
- ・教師や友達と一緒に劇遊びをする
- ・のびのび表現会について知り、期待しながら練習する
- ・のびのび表現会に喜んで参加する
- ・4、5歳児の劇や歌、合奏を見たり聞いたりする
- ・雛壇飾りを見たり、お雛様の歌を歌ったりして桃の節句を楽しむ
- ・「おにはそと、ふくはうち」、「せつぶん」、「もものせっく」などの言葉を知る
- ・雪や氷に触れたり、そり遊びをしたりする
- ・チューリップや水栽培した球根の生長を楽しみにする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎寒さに負けないで体を動かして遊びの楽しさが味わえるように、教師が率先して体を動かすようにする
- ◎自分の思いを言葉で表現できるように、言葉の足りないところは教師が補ったり、代弁したりする
- ◎幼児のイメージに付き合ったり新しい提案をしたりして、イメージの広がりを共に楽しむようにする
- ◎のびのび表現会のことを伝え、自分なりに取り組もうという思いがもてるように、教師自らが楽しんで取り組む姿勢を見せる
- ◎合奏や劇の練習を楽しめるように、励ましたり認めたりする機会を多くする
- 劇遊びが楽しくなるように小道具や大道具などを工夫する
- ◎初めての体験となるのびのび表現会では、それぞれの幼児なりの成長の節目となるように見守る
- ◎のびのび表現会が終わった後も、表現会での経験を遊びに取り入れられるように、楽器や劇の小道具などを使いやすいように置いておく
- ◎思ったりことや感じたことを伝えたり、友達の思いに気付いたりする機会を大事にしながら友達同士の絆を育てる
- 5歳児と牛乳を飲んだり、弁当を食べたりする機会を設ける
- 気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように十分に時間を保障する
- 節分や桃の節句に関心がもてるように、製作をしたり、歌を歌ったりする

意図的活動

- ・のびのび表現会に関する活動
- ・製作（お雛様）

行事など

- ・豆まきのつどい
- ・のびのび表現会
- ・足形とり

健康・安全

- ・足形とり
- ・うがい、手洗いをする

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのび表現会に向けての練習が多くなると、遊ぶ時間が少なくなってストレスを感じる幼児もいる。家庭と連携し、幼児が表現会を楽しみにしながら活動に取り組めるよう配慮する
- ・表現会の衣装の準備をお願いし、着替えが幼児の負担になりすぎないように配慮してもらう

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」、「ふしぎなポケット」、「うれしいひなまつり」
- ・絵本など・・・「ねずみのおいしゃさま」、「かさこじぞう」、「ももたろう」、「ころわんはおにいちゃん」
「おなかのなかにおにがいる」
- ・紙芝居・・・「ねずみのせつぶん」、「むかしむかしおにがきた」
- ・素材・・・折り紙
- ・用具・・・粘土べら
- ・自然・・・うさぎ、金魚、チューリップの球根、水栽培の球根

幼児の姿

- ・かぜや感染症などで体調を崩す幼児が多い
- ・身の回りの始末をきちんとしたり約束を守ろうとしたりするなど、もうすぐ年中組になるという期待をもって生活する幼児が増える
- ・友達とイメージを共有しようとしながら、次々とイメージを膨らませて遊ぶようになる
- ・いざこざが起きると、互いの思いを聞き出そうとしたり状況を把握しようとする幼児がいて、言葉のやりとりが増えてくる
- ・身近な素材で雛人形をつくったり、つくった雛人形を飾ったりすることを喜んでいる
- ・5歳児の修了に向けてプレゼントをつくったり、修了式の練習を見たりしたことがきっかけで、修了式というものに関心をもつ
- ・新しい3歳児が入園してくることを知り、はりきって保育室を飾ったり、ものをきちんとかたづけたりしている
- ・チューリップの芽や天候の移り変わりに気付いたり興味をもったりする

ねらい

- ・自分なりに自信をもってのびのびと生活を進めていこうとする
- ・進級することに期待をもって生活する
- ・イメージをもって、いろいろな遊びをする
- ・修了式に関心をもつ
- ・身近な自然に触れて、春の訪れを感じる

内容

- ・自分なりに生活の見通しをもちながら、自分ですようする
- ・進級することを楽しみにする
- ・身近な遊具や用具などを自分なりに工夫して使ったり、遊びに取り入れたりする
- ・自分の思いを言葉で表現しようとする
- ・遊びに必要なものをつくったり、つくったものを使ったりしながらイメージを膨らませる
- ・なりたいものになり、ごっこ遊びを楽しむ
- ・身近な素材を使って、春の花や生き物などをつくる
- ・気の合う友達とイメージや思いを共有しようとする
- ・遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ
- ・困ったり泣いたりしている友達を見て手助けしたりなぐさめたりする
- ・雛壇飾りを見たりお雛様の歌を歌ったりして桃の節句を楽しむ
- ・5歳児は修了することを知り、プレゼントをつくったり修了式の練習を見たりする
- ・5歳児の修了を祝おうとする
- ・保育室をきれいに飾ったり、掃除をしたりして進級の準備をする
- ・日差しの暖かさ、チューリップの芽、木々の芽などに気付く

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎約束事などが守られていない場合には、そのことに気付かせるように声かけをしていき、よい習慣が身に付くようにする
- ◎幼児のイメージに付き合ったりアイデアを提供したりして、イメージの広がりを楽しめるようにする
- 春のイメージを楽しめるように、春の生き物や花などをつくる機会を設ける
- ◎もうすぐ進級することを伝え、共に喜びながら次の成長につなげる
- ◎思ったり感じたりすることを伝えたり、友達の思いに気付いたりする機会を大事にしながらい友達同士の絆を育てる
- ◎言葉のやりとりを見守り、言葉の足りないところは教師が補ったりする
- 桃の節句を楽しめるように、つくったお雛様を飾ったりお雛様の歌を歌ったりする
- 5歳児と牛乳を飲んだり、弁当を食べたりする機会を設ける
- 3歳児なりに修了を祝おうとする気持ちをもてるように5歳児にプレゼントをつくったり、修了式の練習を見たりする機会を設ける
- 新学期に新しい3歳児が入園することを伝え、保育室を飾ったりきれいに掃除したりしながら、新学期を心待ちにする雰囲気をつくる
- 日差しの暖かさや木々の芽ぶきに気付くことができるように、積極的に戸外に出たり、言葉や態度で伝えたりする

意図的活動

- ・修了式の見学
- ・製作（春の生き物や花、5歳児へのプレゼント）
- ・持ち物の始末
- ・保育室の清掃

行事など

- ・修了式
- ・終業のつどい
- ・お別れのつどい
- ・体重測定
- ・避難訓練

健康・安全

- ・体重測定（静かに待つ、自分の順番が来たら名前を言う）
- ・避難訓練（避難時の約束、避難の仕方を確認する）

家庭との連携・地域との連携

- ・個人懇談（1年間の成長を伝え、喜び合う、来年度に向けての課題を伝える）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「うれしいひなまつり」、「はるがきた」、「ピクニック」、「園歌」
- ・絵本など・・・「ころわんとふわふわ」、「はなさかじいさん」、「ぞうくんのブランコ」
- ・紙芝居・・・「ひなのやまかご」、「きたなひめ」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然・・・うさぎ、金魚、水栽培の球根、チューリップの球根

幼児の姿

- ・入園や進級を喜び、新しい生活にわくわくしながら登園する幼児がいる。一方、新しい環境に戸惑い不安な様子で登園してきたり、母親から離れられなくて登園を渋ったりする幼児もいる
- ・担任が一人しかいなくなる寂しさや、2年保育児と同じ生活を送る戸惑いなどを感じ、保健室や3歳時の担任のもとを訪れる幼児もいる（3年保育児）
- ・身近な遊具や素材などに興味をもち、かかわって遊ぶ
- ・3歳児の時にしていた遊びを楽しんだり、仲良しの友達と一緒に遊んだりする（3年保育児）
- ・保育室で飼っている飼育物や虫、草花などに触れることで安定する幼児がいる
- ・教師と一緒に2年保育児に生活の仕方を教えたり、言葉をかけたり、かかわろうとしたりしている（3年保育児）
- ・3歳児の時、同じクラスだった仲の良い友達とクラスが離れ、戸惑いながらも、したい遊びなどでは一緒に遊びをすすめていく姿が見られる（3年保育児）
- ・3年保育児の遊ぶ様子や身支度の仕方などを見て、真似しようとしている（2年保育児）

ねらい

- ・入園を喜び、園生活を楽しむ（2年保育児）
- ・進級を喜び、園生活に親しむ（3年保育児）
- ・新しい保育室でのきまりや約束を知り、守ろうとする
- ・新しい教師や友達と触れ合い、親しみをもつ
- ・好きな場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・春の自然に親しむ

内容

- ・喜んで登園する
- ・元気に挨拶や返事をする
- ・新しい生活に必要な決まりや約束を知り守ろうとする
- ・自分のクラスや担任、友達の名前を覚える
- ・自分でできることは自分でしようとする
- ・教師や友達と触れ合い、親しみをもつ（2年保育児）
- ・教師や気の合う友達と一緒に遊ぶ（3年保育児）
- ・春の自然に興味をもちかかわる
- ・保育室や園庭の環境を知る
- ・保育室の使い方や安全な生活の仕方を知る
- ・遊具や用具の名前や使い方を知る
- ・気に入ったものや場所を見つけて遊ぶ
- ・教師の話を楽しみをもって聞く
- ・園生活に必要な言葉を知り話す
- ・教師や友達と歌を歌ったり手遊びをしたりして楽しむ
- ・友達と一緒に絵本や紙芝居などを楽しんで見る
- ・年長児と一緒に散歩や春の遠足に出かける
- ・こいのぼりのつどいに参加する

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 保育室を春らしく飾り、明るい雰囲気をつくる
- ◎毎日の生活の具体的な場面で決まりや約束を知らせていく
- ◎身の回りの生活習慣が身に付くように、自分でできることは幼児に任せるようにし、必要に応じて教師が手助けする
- ◎その幼児なりの育ちを考慮しながらかわり、新しい生活にその幼児なりのペースで親しむことができるようにする
- ◎2年保育児が3年保育児の遊びに加わるように、教師も一緒になって遊ぶ（2年保育児）
- 保育室に慣れ親しんだ遊具や素材を用意したり、コーナーをつくったりしておく
- ◎幼児の不安な思いを受け止める（3年保育児）
- ◎教師も一緒に遊びながら一人一人の幼児との絆をつくる
- ◎安心して生活できるようにやさしく声をかけたり、スキンシップをはかったりする
- ◎名前を呼んだら元気に返事をするように促す
- 教師の顔を見ながら話が聞けるような環境づくりを心がける
- ◎歌を歌ったり絵本を見たりする活動を通して、その子なりのイメージを膨らませる
- ◎クラスみんなで集まったときには、楽しい雰囲気が感じられるようにする

意図的活動

- ・園での生活の仕方の指導（トイレ、手洗い、ロッカー引き出し、透明引き出し、靴箱の使い方）
- ・保育室やプレイルーム、園庭の遊具の使い方の指導
- ・2年保育児と3年保育児がかかわれる仲よしゲーム等
- ・キャンパス内散歩（5歳児と）
- ・グループ表づくり
- ・こいのぼりづくり

行事など

- ・始業のつどい
- ・入園式
- ・創立記念日
- ・こいのぼりのつどい
- ・避難訓練
- ・身体測定
- ・視力検査
- ・春の遠足（角間キャンパス）

健康・安全

- ・園のトイレの使い方を知る
- ・弁当時の用意の仕方や弁当の食べ方、食べる時のマナーを知る（食育計画参照）
- ・遊具や用具の使い方を知る
- ・公道の安全な歩き方を知る
- ・避難の仕方を知る（避難放送を座って静かに聞く、避難時の3つの約束）
- ・身体計測の仕方を知る（計測場所での待ち方、自分の名前を伝えること）
- ・視力検査を通して、目の大切さを考える

家庭との連携・地域との連携

- ・入園式の日、保護者と一緒にクラスや番号を確認し、靴箱やロッカーの場所などを知らせる（2年保育児）
- ・お弁当便りを通して、準備の仕方を具体的に知らせていく
- ・2年保育児の保護者と3年保育児の保護者が関係をつくっていきけるように、幼児の様子を伝えていく
- ・園での様子を心配する保護者の思いを受け止め、降園時などに園での幼児の様子を伝えていく
- ・春の遠足では、保護者に金沢大学を知ってもらう
- ・学年懇談会（一年間の見通しや学年目標、ねらいを伝える、参観日など園での振る舞い方に気をつけてもらう
夏休みのババースマー体験活動についてお知らせ、お願いをする）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・園歌「ゆめにむかって」「春をみつけた」「ちいさな庭」「そらとべあおむしくん」「ちいさないのち」「はるはともだち」「こいのぼり」
- ・絵本など・・・「ぐりとぐらのえんそく」「あくしゅでぎゅっ」
- ・紙芝居・・・「みんないるかな」「どうしてこいのぼりあげるの」
- ・素材・・・新聞紙、広告紙、色画用紙、箱、包装紙、新聞紙、段ボール片、
- ・用具・・・セロハンテープ、クレヨン、マジック、ハサミ、布ガムテープ、のり、
- ・自然・・・インコ、メダカ、チューリップ、たんぼぼ、

幼児の姿

- ・新しい生活に慣れ、安心して過ごせるようになる。登園後など、ホワイトボードに示した一日の予定に興味をもつ幼児が増えてくる
- ・自分なりにしたい遊びや気に入った場所を見つけることができ、園生活を楽しめるようになる
- ・同じ場や遊具などで遊ぶことをきっかけに3年保育児と2年保育児のかかわりが徐々に多くなる。クラスの枠をこえ、お互いに行き来しながら遊ぶようになる
- ・教師と一緒に遊ぼうとしたり、教師の投げかけた遊びに興味をもって取り組もうとしたりする
- ・教師が提示した素材や遊具などに積極的にかかわろうとする。また、新しく使えるようになった遊具や場に慣れ、自分からかかわろうとする
- ・自分なりに力を試したり、イメージをもったりしながら、園庭の固定遊具や砂場などで遊ぶ幼児が多い
- ・友達に自分の思いを言葉で伝えようとする姿が見られるようになる。中には、相手に上手く伝えられず、戸惑ったり、手が出てしまったりする幼児もいる
- ・かいたりつくったりしたものなどを教師に見せにきたり、自分のつくったものを翌日も持って登園したりする
- ・教師や友達と同じものをつくったり、同じイメージをもって遊んだりすることを楽しむ幼児が多い

ねらい

- ・教師や友達に親しみをもち、触れ合いながら園生活を楽しむ
- ・気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・教師や友達と一緒に活動することを楽しむ
- ・園庭の自然に興味をもつ

内容

- ・園での生活の仕方が分かり、自分でできることは自分でしようとする
- ・したい遊びを見つけて遊ぶ
- ・戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ
- ・使ったものをかたづけ、きれいになった居心地のよさを感じるた感じを味わう
- ・教師や友達と触れ合ったり、遊んだりすることを楽しむ
- ・みんなで一緒に過ごす時間を楽しむ
- ・気に入った場所や遊具を見つけて遊ぶ
- ・教師が提示した環境に興味をもってかかわる
- ・砂、泥、水などの感触を味わう
- ・風を感じて遊ぶ
- ・教師や友達の話を親しみをもって聞く
- ・自分のしたいことを言ったり、分からないことを尋ねたりする
- ・遊びの中で自分の思いをあらわす
- ・身近な用具や素材などでかいたり、つくったりすることを楽しむ
- ・自分なりにイメージしたものになりきって遊ぶ
- ・母の日を知り、感謝の気持ちをもつ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- したい遊びを見つけて楽しめるように、製作コーナー、ままごとコーナーなどを設けたり、慣れ親しんだ遊具や材料を提示したりする
- ◎戸外での遊びや園庭の自然に目が向くように教師も積極的に戸外に出る
- ◎触れ合いを楽しんだり、思いを受け止めたりしながら幼児との絆をつくっていく
- みんなで同じものをつくったり、歌を歌ったりして、クラスみんなで楽しく過ごす時間を大事にする
- 友達同士で触れ合える手遊びや体表現を取り入れる
- ◎教師も一緒に仲間になって遊びながら、場のつくり方や使い方、ものの扱い方などを知らせていく
- 箱積木や鉄棒など新しく使うようになった遊具は、一緒に使いながら扱いに慣れていくようにし、使って遊ぶ楽しさを感じられるようにする
- してほしいことや、困っていることなどが上手く伝えられない幼児には、表情などからその気持ちを察したり、話をゆっくり聞いたりする
- かいたり、つくったりする楽しさが味わえるように、包装紙、空き箱などの素材をいつでも使えるように出しておく、要求に応じて補充できるようにしておく
- ◎年長児の真似をして挑戦しようとしている幼児の思いを認めながら、状況に応じて制したり、教師間の連絡を密にしたりしていく

意図的活動

- ・ロッカー等の使い方の確認
- ・風を感じる遊び（風車、凧、紙飛行機）
- ・製作（こいのぼり、母の日のプレゼント）
- ・壁面製作（誕生表やクラスのイメージに合わせて）
- ・体表現遊び
- ・園外保育（バラ公園）
- ・小学校の運動会見学
- ・草むしり

行事など

- ・内科検診
- ・歯科検診
- ・尿、寄生虫検査
- ・聴力検査

健康・安全

- ・運動服が砂や泥や水で汚れた時の着替えや後始末の仕方を知る
- ・トイレのスリッパの使い方を知り、次の人が使いやすいように並べる
- ・公道の安全な歩き方を知り、守る
- ・内科検診、歯科検診（あいさつをする、自分の名前をはっきり言う、検査室では静かに待つ）

家庭との連携・地域との連携

- ・園庭で泥だらけになって遊ぶ良さを伝え、後始末のためのビニール袋や着替え袋の中身の補充をお願いする
- ・自分で脱ぎ着できる服装にしてもらう（ボタンの数や大きさ、位置。コートのかげひもなど）
- ・自分のものを自分で管理できるように、すべてのものに記名を徹底してもらう
- ・参観日には、母親から離れられず、遊びの時間をずっと側で過ごす幼児の保護者には、心配する気持ちを受け止め、日ごろの様子を伝える
- ・製作や砂遊びなど一人で遊びに没頭する姿を見て心配している保護者に対して、その遊びで学んでいることや、教師がどのように見取っているか、今後の見通しなどを伝えていく

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「みどりのマーチ」「おひさまパワー」「手のひらを太陽に」「すきすきおかあさん」「とんとんとんひげじいさん」「ちいさな庭」「こいのぼり」
- ・絵本など・・・「999ひきのかえる」「おたまじゃくしの101ちゃん」
- ・紙芝居・・・「さっちゃんのカーネーション」
- ・素材・・・タフロープ、プラスチック容器
- ・用具・・・ゆびのり、ボンド、水性マジック
- ・自然・・・あり、ダンゴムシ、ミニトマトの苗、ツツジ、フジの花、あさがお

幼児の姿

- ・教師や友達と同じものをつくったり、同じものを身につけたりしながら、同じイメージをもって遊ぶことを楽しむ幼児らの姿が見られる。しかし、自分中心に遊びをすすめる幼児もいて、同じ場においてもイメージがバラバラであることが多い
- ・友達と一緒に遊びたい気持ちはあるのだが、遊びの中で自分の思いを相手に言葉で十分に伝えることができず、叩くなどの行為で表したり、自分の心の中で葛藤したりしている姿が見られる
- ・教師や友達がつくったものを見て興味を示し、ヒーローやヒロインごっこ遊びに必要なものをつくったり、つくったものを使って遊ぼうとしたりする
- ・教師や友達と一緒に保育室やテラスに大型遊具を運んで遊びの場をつくり、使って遊ぼうとする幼児が増えてくる
- ・友達と一緒に砂場に山や川をつくったり、泥団子づくりをしたりする幼児もいる
- ・砂・泥・水の感触を楽しんだり、遊びに生かそうとしたりする姿が見られる。また、体全体で砂水や泥水の中につきり、泥んこになって遊ぶことを楽しむ姿も見られる
- ・園庭の生き物を見つけようと築山やプール周辺の草むらを探して回っている。最初は、見つけた虫を手で捕まえることができない幼児もいるが、友達や教師に採ってもらい、つくった虫かごに入れて大事にする姿も見られる

ねらい

- ・教師や友達と一緒に遊んだり活動したりすることを楽しむ
- ・身近な遊具や素材などを自分の遊びに取り入れて遊ぼうとする
- ・初夏の自然に触れ遊ぶ

内容

- ・自分でできることは自分でしようとする
- ・興味をもったものや遊びに自分からかかわる
- ・教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- ・みんなで一緒に過ごす時間を楽しむ
- ・友達のことを名前と呼ぶ
- ・教師や友達の話の話を聞いたり、自分の思ったことを話したりする
- ・遊びの中で自分の思いを言ったり、相手の思いに気づいたりする
- ・教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ
- ・遊びに必要なものをつくったりそれを使って遊んだりする
- ・いろいろな水遊びに興味をもつ
- ・砂・泥・水などの感触を味わいながら遊ぶ
- ・園庭の草花を集めたり、生き物をつかまえたりする
- ・友達の誕生日を祝う
- ・父親に感謝の気持ちをもつ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 友達とより親しめるように、名前を呼んだり、スキンシップしたりする活動を設定する
- ◎トラブルが起きた時など、自分の思いを自分なりに表現している様子を認め、互いの思いを聞きあったり、気持ちを伝えたりするように仲立ちする。場合によっては、どうしたらいいかを一緒に考える
- ◎教師がモデルとなって遊びのイメージを共有化したり、広げたりする
- みんなで同じものをつくったり、歌を歌ったり、ゲームをしたりなどクラスみんなで楽しく過ごす時間を大事にする
- 自分からも場所にかかわって遊べるように、製作コーナーの材料や用具を使いやすく整理しておく
- 友達とおなじものをつくるができるように、素材を十分に準備しておく
- ◎箱積木や鉄棒などを使って遊ぶ幼児には、安全に留意しながら使うように促す
- シャボン玉遊び、色水遊び、舟遊びなど、いろいろな水遊びができるコーナーを準備しておく
- 園庭の自然に目が向くように教師も園庭に出て一緒に遊んだり、自然を利用した遊びを提示したりする
- 捕まえた生き物、採ってきた草花を観察したり観賞したりするコーナーを設ける

意図的活動

- ・誕生録音（誕生録音の仕方を知る、内容を相談して決める）
- ・水遊び（着替えや水着の始末の仕方、空容器を使っての遊びやシャボン玉づくりなど、いろいろな遊びを通して水に触れて楽しむ）
- ・父の日のプレゼントづくり（父に感謝の気持ちをもつ、段ボールカッターの使い方）
- ・園外保育（平和町公園）

行事など

- ・幼児教育研究会
- ・日曜参観
- ・避難訓練
- ・眼科検診
- ・耳鼻科検診
- ・体重測定

健康・安全

- ・汗をたくさんかいたり、水でぬれたり泥だらけになったりした時の始末をする
- ・避難訓練（不審者が園に現れた時の行動の仕方を知る）
- ・眼科検診、耳鼻科検診、体重測定（体が成長したことを知り、喜ぶ）

家庭との連携・地域との連携

- ・衣替えを機会に、着替え袋の中身を薄着にしてもらう
- ・汗ふきタオルの使用が増え、毎日持って帰り、次の日に持ってきてもらう
- ・水遊びについてのお便りを配布し、準備の仕方を知らせる
- ・友達と遊んでいなことを心配する母親に、一人でもじっくりとものとかかわって遊ぶ大切さを伝えていく
- ・トラブルが増えてくるが、トラブルを通して幼児らが学んでいることやその場で援助する教師の願いを伝えていく
- ・緊急お迎え訓練を通して、緊急時の行動の仕方を具体的に知らせる
- ・日曜参観日にはふだん通りの生活を行い、平日見にくることが難しい保護者の方にも、幼児の園での様子を見てもらう

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「ひっこしかたつむり」「大きい手をしたお父さん」「はくのおとうさん」「歌えバンバン」「のねずみ」「とけいのうた」「しゃぼん玉」「かたつむり」「アブラハムと7人の子」
- ・絵本など・・・「どろだんご」「お父さんの大きい手」
- ・紙芝居・・・「ぱぱだいすきさ」
- ・素材・・・プラスチック容器、段ボール板
- ・用具・・・段ボールカッター
- ・自然・・・バッタ、カマキリ、カタツムリ、ミニトマト、アジサイ

幼児の姿

- ・プールに入ることを喜び、積極的にプール遊びを楽しむ幼児が多い。中には、体を洗うシャワーを怖がったり、プールに入ることを拒んだりする幼児もいる
- ・担任やクラスの友達に慣れ親しみ、安心して自分を出せるようになる。それに伴い、思いのすれ違いによるいざこざが多くなる
- ・水鉄砲、色水遊びなど、水を使った遊びを楽しむ幼児が多くなる
- ・5歳児のしている遊びに興味をもち、かかわろうとしたり、同じことをしようとしたりする姿が見られる
- ・持ち寄った生き物や園の生き物に興味関心を示し世話をしたがる幼児がいる
- ・自分たちの力で大型積み木を組み立てたりかたづけたりできるようになり、基地や家などをつくって遊んでいる
- ・育てている野菜の実が変化していることに興味をもち、生長を楽しみにしている幼児もいる
- ・餌をやったり、掃除をしたりなど飼育当番の仕事をする中で、生き物を身近に感じたり、4歳児なりに責任をもって取り組もうとしたりする姿が見られる

ねらい

- ・教師や友達と一緒に遊んだり活動したりすることを楽しむ
- ・水を使った遊びを十分に楽しむ
- ・七夕に関心をもち、いろいろな活動を楽しむ

内容

- ・自分でできることは自分でしながら生活する
- ・水遊びやプール遊びの仕方や約束などを知る
- ・教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- ・友達のしている遊びに興味をもち、かかわろうとする
- ・5歳児のしている遊びに興味をもつ
- ・遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞こうとしたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、体表現をしたりすることを楽しむ
- ・身近な素材を使い、笹飾りを作って飾る
- ・水、砂、泥を使った遊びを全身で楽しむ
- ・七夕、星などに興味関心をもち
- ・七夕や星に関する紙芝居や絵本などを見てイメージを豊かにする
- ・身近な小動物や植物に目を向け、興味をもって見たり、触れたり、遊んだり、世話をしたりする
- ・1学期が終わることを知り、夏休みを楽しみにする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎教師も一緒に水、砂、泥を使った遊びを楽しみ、気持ちよさを伝えていく
- プール遊びや泥んこ遊びなどの着替えや持ち物の始末がしやすいように、幼児らの動線を考えながら収納場所や着替える場所を設定していく
- プール遊びでは、一人一人の水の慣れ具合を把握し、水が怖い幼児には、教師が抱いて一緒に入るなどし、安心して遊ぶことができるようにする
- ◎友達と一緒に同じものをつくりたいという要求に応えられるように素材は十分に準備しておく
- ◎いざこざが起こった時は、互いの思いを聞きあったり、気持ちを伝えたりするように仲立ちする
- ◎友達と一緒に体表現を楽しむことができるような、歌やダンスを提示する
- ◎身近な動植物に触れる中で個々の幼児の発見や驚きを受け止め、取り上げクラス全体に伝えていく
- 七夕や宇宙に関する絵本などを幼児らの目に触れやすい所に置いておく
- 幼児の目に触れる所に笹竹を飾っておき、個々につくった笹飾りが自由に飾れるようにしておく
- 笹飾りが自由につくることができるように必要な材料を使いやすいように準備しておく

意図的活動

- ・水を使った遊び（シャボン玉、船づくり、洗濯遊び、水鉄砲、風鈴づくりなど）
- ・プール遊び
- ・製作（七夕飾り）
- ・持ち物の整理整頓
- ・保育室の掃除や遊具の整頓

行事など

- ・終業のつどい
- ・七夕のつどい
- ・避難訓練
- ・親子歯磨き講習会
- ・足形とり

健康・安全

- ・手洗い、足洗い、汗の始末、うがい、水分補給などの大切さを知る
- ・避難訓練（「おはし」の約束を守ろうとする、したい遊びの最中の避難の仕方を知る）
- ・親子歯磨き講習会で保護者と一緒に歯磨きをすることで、歯磨きに関心をもつ
- ・足形とり

家庭との連携・地域との連携

- ・自分で水遊び後の始末ができるようにタオルなど扱いやすいものを用意してもらう
- ・けがや病気の予防のため、耳掃除や手足の爪を短くすることを知らせる
- ・学年懇談会（進級、入園からこれまでの生活の様子やこれからの課題を伝える、夏休み中に規則正しい生活を送るよう啓発する）
- ・個別懇談（4月からの園での様子を伝える、保護者とお互いに幼児の理解に努める）
- ・夏休みのパパーズサマー体験について確認する
- ・親子歯磨き講習会を開き、仕上げ磨きの大切さを理解してもらう

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「たなばた」「宇宙は楽しいフェスティバル」「天の川の上で」
- ・絵本など・・・「スイミー」「10ぴきのかえるのなつまつり」
- ・紙芝居・・・「ねがいごとはないしょのひみつ」「たんざくにお願いかいて」
- ・素材・・・折り紙、モール、紙コップ
- ・用具・・・
- ・自然・・・ミニトマトの収穫、バッタ、カマキリ、カブトムシ

幼児の姿

- ・ 1学期に楽しんだ遊びを繰り返しながら、友達と一緒に過ごす園生活のペースを取り戻している
- ・ のびのびフェスティバルに向けての取り組みを通して運動的な遊びにも興味をもち、自分たちの遊びに取り入れて楽しんでいる
- ・ 気の合う友達同士がイメージを共有しながら、おうちごっこや基地ごっこを楽しんでいる
- ・ 砂場では汚れを気にせず全身で砂や泥に触れて遊ぶ姿が見られる。友達と考えを出し合ったり、協力したりしながら、水路や池、山などをダイナミックにつくっている
- ・ 製作コーナーの素材を利用して武器やアクセサリなど遊びに使うものをつくろうとしたりする姿が多く見られるようになる

ねらい

- ・ 友達と一緒に活動する楽しさを味わう
- ・ 戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ
- ・ 園庭の動植物に触れて遊びながら、季節の変化を感じる

内容

- ・ いろいろな運動遊びに興味をもって友達と一緒に取り組む
- ・ プール遊びの約束を守り、楽しむ
- ・ 戸外で力いっぱい体を動かして遊ぶ
- ・ リズミカルな音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ
- ・ 気の合う友達と一緒に遊びの場をつくって過ごすことを通して、絆を強める
- ・ 友達ともの（製作物、遊具など）を媒介にイメージを共有して遊ぶ
- ・ 遊びに必要な場をつくり、それらを利用して遊ぶ
- ・ 砂や泥に全身でかかわって遊ぶ
- ・ 園庭や築山の生き物を探したり、捕まえたりする
- ・ したこと、見たこと、聞いたことなどを話す
- ・ 友達に自分の考えや思いを言葉で伝えようとする
- ・ 身近な素材でつくったものを身に付け、なりたいたいものになりきって遊ぶ
- ・ のびのびフェスティバルがあることを知り、期待したり楽しみにしたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎気の合う友達同士の絆が強くなることもふまえ、配慮した生活グループづくりをする
- ◎教師自らが積極的に戸外に出て遊び、力いっぱい走ったり、体を動かしたりする楽しさに気付かせる
- ◎遊びの様子を見ながら休息や水分補給、汗を拭くことなどの必要性を知らせる場をもつ
- ◎教師も一緒にプール入って水遊びを楽しみながら、水を使って遊ぶ心地よさが感じられるようにする
- ◎イメージを共有して遊ぶ楽しさが感じられるようにする
- ◎音楽に合わせて体を動かしたり、なりたいたいものになったり、簡単な決まりのある遊びをしたりして、教師や友達と一緒に活動する楽しさを味わえるようにする
- つくって遊ぶ楽しさがより広がるように、これまで触れ親しんだ素材や用具を使いやすいところに提示しておく
- マルチパネや大型遊具、固定遊具を使って、教師も一緒に遊びに必要な場やものをつくったり、つくったもので遊んだりする
- 身近な素材や用具を使う時には、自分でつくろうとする姿を応援しながら、難しいところは手を添えたり、コツを教えたりしていく
- つかまえた虫を調べたり飼ったりできるように、図鑑や飼育箱を準備しておく
- 幼児らの興味関心の方向を捉え、イメージを共有しやすい音楽や話題などを提示する

意図的活動

- ・生活グループ表づくり
- ・プール遊び
- ・運動遊び
- ・リズム表現遊び
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動
- ・製作（のびのびフェスティバルの小道具づくりなど）
- ・中学校の運動会見学

行事など

- ・始業の集い
- ・避難訓練
- ・身体測定
- ・視力検査
- ・教育実習

健康・安全

- ・気温の高い日には、水分補給や汗の始末が大切であることを知り、行う
- ・避難訓練（『ケヤキコース』の避難の仕方を知り、園庭に避難する、したい遊びの時間の避難の仕方を知る）
- ・身体計測（計測時の受け方や約束事を知り、正しく受ける）
- ・視力検査（目を大切にするための生活について考える）

家庭との連携・地域との連携

- ・水筒の量や汗ふきタオルの交換などについて願う
- ・学年懇談会（のびのびフェスティバルにむけて、2学期の見通し、生活改善アンケートを受けての課題）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「とんぼのめがね」「元気だよ」「むしのこえ」「パワフルパワー」「かけっこファイト」
- ・絵本など・・・「とんぼのうんどうかい」「からすのぼんやさん」「へんてこやまのうんどうかい」
- ・紙芝居・・・「まほうのこなぐすり」「うんどうかいってたのしいな」
- ・素材・・・カラー段ボール紙
- ・用具・・・
- ・自然・・・藤の実、バッタ

幼児の姿

- ・天候のよい日には積極的に戸外へ出て、活発に動き回ったり、体を動かして遊んだりする幼児が増えてくる
- ・のびのびフェスティバルを楽しみにし、いろいろな練習に取り組んでいる
- ・のびのびフェスティバルに向けての取り組みなどがきっかけで、これまであまりかわりのなかった友達ともつながりをもとうとする幼児や、隣のクラスに関心をもつ幼児が増えてくる
- ・のびのびフェスティバルでの5歳児のリレーやリズム表現を見て憧れの気持ちを抱き、5歳児の真似をして楽しむ姿も見られる
- ・教師と一緒にマルチパネや大型積み木などを組み合わせて自分達の基地をつくろうとしたり、自分達の遊びに取り入れて遊んだりする姿が見られる
- ・思いのくい違いや互いに譲らないことなどが原因でいざこざが起きる。中には、キックやパンチなどで自己表出を繰り返す幼児もいる

ねらい

- ・友達と一緒に戸外で体を力いっぱい動かして遊ぶ楽しさを味わう
- ・友達と思いを出し合いながら遊ぶ
- ・身近な秋の自然に関心をもつ

内容

- ・園庭の固定遊具や構成遊具などを利用していろいろな運動遊びを友達と一緒に楽しむ
- ・友達と一緒にリズムカルな音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ
- ・自分のイメージをいろいろな方法で表現したり、実現しようとする
- ・友達と一緒にのびのびフェスティバルに向けて取り組む
- ・指示や合図を理解し、行動する
- ・友達と一緒に、遊びに必要なものや場を準備したりつくったりする
- ・友達とアイテムなどのものや場を媒介としてイメージを共有しながら遊ぶ
- ・友達に自分の考えや思いを言葉で伝えようとする、友達の思いを聞いたりしようとする
- ・5歳児に教えてもらったり、真似たりしていろいろなことに関心を広げる
- ・虫を探したり、捕まえたりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎遊びの中で生まれてきたきまりを教師が周りの幼児らに伝えたり確認したりする場をもち、きまりを守って遊ぶおもしろさに気付くようにする
- ◎教師も一緒に遊びに必要なものや場をつくりながら、遊びをつくっていく楽しさに気付かせるようにする
- これまで触れ親しんだ素材や用具を幼児らの使いやすいところに提示しておく
- のびのびフェスティバルで興味をもったことが再現できるように、のびのびフェスティバルで使った用具などを自由に使えるように出しておく
- ◎相手の思いを聞くように促したり、相手に自分の思いを伝えようとすることを支えたりする
- ◎いざこざが起きた時には落ち着いて話し合う場を設ける。その上で、お互いの思いを伝え合えるように声をかけた、相手の思いを代弁したりする
- つかまえた虫や家庭から持ち寄られた秋の自然物を展示するコーナーを設ける
- ◎みんなと同じイメージがもてるように同じものをつくって身に付けられるようにする

意図的活動

- ・ のびのびフェスティバルに関する取り組み
- ・ 運動遊び
- ・ (クリーン活動)

行事など

- ・ のびのびフェスティバル
- ・ (クリーン活動)

健康・安全

家庭との連携・地域との連携

- ・ 衣替えについて伝える
- ・ 着替え袋の中身を気候に合わせて交換してもらうように伝える
- ・ 家庭でものびのびフェスティバルが楽しみになるように、競技種目の中に親子で触れ合ったり力を合わせたりしながら進めていく種目を設定し、保護者に伝える
- ・ 幼児同士のかかわりが多くなってくる反面、トラブルやいざこざが増えてくる。必要に応じて、保護者にいざこざを通して学んでいることやこれからの課題などを保護者に伝え、一緒に育てていこうとする気持ちを促す

補助資料

- ・ 歌、手遊びなど・・・「くりのみロック」「どんぐりころころ」「やきいもグーチーパー」「わいわい運動会」
- ・ 絵本など・・・「あしたえんそくだから」「ねずみのえんそく もぐらのえんそく」「だんまりこおろぎ」「うんどうかいがはじまった」「よーいどん！」
- ・ 紙芝居・・・「おちばのようふくくださいな」
- ・ 素材・・・
- ・ 用具・・・
- ・ 自然・・・どんぐり、コオロギ、カマキリ

幼児の姿

- ・遊びの中で友達に関心をもったり、自分の思いや考えを聞いてもらおうとしたりする姿が見られるようになる
- ・大学生との触れ合いを楽しんでいる幼児が多い
- ・身近な素材を工夫して遊びに必要なものをつくったり、友達と一緒に大型遊具などを組み合わせて遊びの場をつくったりして遊ぶようになる
- ・餌をやったり掃除をしたりすることで、生き物を身近に感じたり、5歳児と一緒に飼育当番をすることを楽しんだりする
- ・なかよしウィークで同じグループだった3歳児や5歳児のしている様子に興味をもったり声をかけたりする姿が見られる

ねらい

- ・友達と一緒にいろいろな遊びを楽しみ、興味関心を広げる
- ・身近な遊具や素材などを使い、工夫してつくったり、つくったものを使って遊んだりすることを楽しむ
- ・異年齢の友達やいろいろな人と触れ合い、親しみをもつ
- ・身近な自然の変化に興味をもったり、動植物に触れ親しんだりする

内容

- ・気の合う友達と一緒にしたい遊びを楽しむ
- ・自分なりにイメージをもち、様々な形で表現しようとする
- ・大学生や異年齢児、親と触れ合いながら遊ぶことを楽しむ
- ・教師や友達の話を最後まで聞こうとする
- ・友達に自分の考えたことや感じたことを言葉で伝えながら遊ぶ
- ・遊びに必要なものを準備したり、つくったりする
- ・身近な素材を使い、工夫したり試したりして遊ぶ
- ・身近な遊具や素材などに親しみ、安全な使い方や遊び方を知る
- ・木の葉や木の実など自然物を使って遊ぶ
- ・身近な生き物に触れたり、世話をしたりして親しみをもつ
- ・チューリップの球根を植えたり、水栽培をしたりして生長を楽しみにする
- ・金沢の伝統文化に触れ、興味関心を広げる

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎自分達で大型遊具を持ち出して遊べるように、教師も一緒に運んで場づくりをしたり、友達と声をかけ合って運んでいる幼児を認めたりする
- ◎自分のイメージや思いを様々な方法で表そうとしている姿を認め、教師もアイデアを出したり、思いに共感したりして楽しい経験が広がるようにする
- 遊びに必要な素材や遊具を必要な時に使えるように準備し、使いやすいうように提示しておく
- ◎友達と思いのくい違いが見られる時には、お互いの思いを伝え合えるよう声をかけ、相手の思いに気付かせるようにする
- ◎目的に応じて必要なものをつくることができるように素材や材料を吟味し準備しておく
- ◎園庭の木々の葉が落ちる様子などを観察しながら、自然の移り変わりを共に感じる
- 互いの遊びが見えるように、遊び同士がつながる空間構成を考え、配置する
- ◎5歳児の遊びの場に加わったり真似たりして遊びを広げようとしている幼児を認める

意図的活動

- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・球根植え、水栽培
- ・秋の自然物を使った製作

行事など

- ・なかよしウィーク
- ・金箔芋茶会
- ・避難訓練
- ・体重測定
- ・日曜参観

健康・安全

- ・よく噛んで食べる大切さを知り、根菜類を友達や教師と試食する
- ・体重測定（自分の体の成長に関心をもつ）
- ・避難訓練（2次避難の仕方を知る）

家庭との連携・地域との連携

- ・防寒具の始末などが自分でできるように、使いやすい丈やかけひもの確認などをしてもらう
- ・日曜参観（幼稚園での普段の生活の様子を見てもらう、親子で触れ合う遊びの紹介）
- ・金箔芋茶会での身支度（白い靴下や襟付きの洋服）をお願いする

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「やまのごちそう」「もみじ」「たきび」
- ・絵本など・・・「ヒッコリーのきのみ」「ほんたのじどうはんばいき」「ねずみのいもほり」
- ・紙芝居・・・「ももたろう」「おおきなかぶ」
- ・素材・・・工作用紙
- ・用具・・・めうち、とび縄
- ・自然・・・チューリップの球根、ヒヤシンス、クロッカス、落ち葉

幼児の姿

- ・クリスマスをつどいを楽しみにしながら練習に取り組む、自分なりに頑張ろうとしている
- ・クリスマスやもちつきなど、この時節ならではの行事を心待ちにしたり、喜んで参加したりしている
- ・数日間、気の合う友達と同じ遊びを繰り返し遊ぶ姿が多くなる
- ・友達とで同じものを食べることで、食材に関心をもったり、苦手だったものも食べてみようとしたりする姿が見られる
- ・保育室で水栽培している球根の様子に目を向け、変化を楽しんでいる

ねらい

- ・クリスマスをつどいに向けて、友達と一緒に練習する
- ・友達と共通のイメージをもって遊ぶことを楽しむ
- ・身近な遊具や素材などを工夫して使ったり、つくったもので遊んだりすることを楽しむ
- ・年末年始の行事や生活に興味関心をもつ

内容

- ・クリスマスや正月などを楽しみにし、いろいろな活動に参加する
- ・絵本や物語などのお話に興味をもつ
- ・教師や友達と一緒に共通の目的をもって活動する
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ
- ・気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ
- ・友達と一緒に遊びに必要なものを準備したり、つくったりする
- ・自分の思いを相手にわかるように伝えたり、相手の思いにも気づき、受け入れようとしたりする
- ・身近な素材を工夫して使い、クリスマスの飾りをつくる
- ・友達や教師と一緒に同じものを食べ、関心を広める
- ・木々の様子や天候、風邪の冷たさなどを通して季節の移り変わりに気づく
- ・身近な生き物に触れ親しみ、興味をもったり世話をしたりする
- ・保育室を掃除したり、遊具を整頓したりする
- ・水栽培をしている球根の生長を楽しみにする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎クリスマスをつどいに向けての活動を通して、友達と一緒に取り組む楽しさや充実感をもてるようにする
- ◎ストーリーの展開や登場する人物がはっきりしているような絵本や紙芝居を準備し、劇遊びにつなげる
- ◎教師も一緒に参加して遊びに必要なものをつくり、つくったものを使って遊ぶ楽しさに気づかせる
- ◎一人一人がイメージや思いを様々な方法で表そうとしている姿を認めたり、共感したり、つなげたりしていく
- ◎お互いに思いを伝え合っている姿を認めたり、相手の思いに気づくような言葉をかけたりする
- ◎楽しんで飾りをつくることができるように、型紙や光る素材やリボンなどを準備しておく
- 町の様子や身近な自然の様子を話題として取り上げ、話し合う場をもつ
- ◎冬休みやお正月を楽しみにする気持ちを受け入れながら、規則正しい過ごし方やお手伝いの大切さなどを伝えていく
- 保育室の空気を入れ替える大切さを伝えながら、換気を心掛ける

意図的活動

- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・絵画（もちつき）
- ・味噌汁昼食
- ・製作（クリスマスツリー・リース、サンタクロースのオーナメント等）
- ・クリスマスのつどいに向けての活動
- ・冬休みに向けての話し合い
- ・持ち物の整理整頓
- ・保育室の掃除や遊具の整頓

行事など

- ・終業のつどい
- ・もちつき
- ・クリスマスのつどい

健康・安全

- ・手洗い、うがいの大切さを知り、自分から進んでする
- ・保育室の換気の意味を知る
- ・冬休みの生活の話（規則正しい生活、交通安全、知らない人についていかない等）を聞き、守ろうとする気持ちをもつ

家庭との連携・地域との連携

- ・個別懇談（一人一人の2学期の遊びを通して学んでいることやこれからの課題となることを伝える）
- ・雪遊びの準備について発信する

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「クリスマスがやってくる」「やったー！サンタがやってくる」「しずかなクリスマス」「赤鼻のトナカイ」「お正月」「ジングルベル」
- ・絵本など・・・「あのね、サンタのくには・・・」「ぐりとぐらのいちねんかん」「おばあちゃんのおしょうがつ」「おせちのおしょうがつ」
- ・紙芝居・・・「わらしべ長者」「すべってころんで」「
- ・素材・・・光る素材、モール、毛糸やリボンなど
- ・用具・・・ホッチキス
- ・自然・・・

幼児の姿

- ・着替えや雪遊びの身支度など自分の身の回りのことを大体自分でできる
- ・今まで使い親しんできた遊具や素材などを工夫して遊びに取り入れ、使う姿が見られる
- ・カルタやトランプなどの遊びを通して、文字や数字などに興味関心をもつ幼児がいる
- ・友達のしていることに刺激を受けてやってみようとしている幼児が多い
- ・気の合う友達同士で自分の思いやイメージを伝え合いながら続けて遊ぶ姿が見られる
- ・のびのび表現会を楽しみにしながら、友達と一緒に劇や合奏などの練習に取り組んでいる
- ・雪が降ると積極的に園庭に出て、雪や氷などに触れて遊ぶことや、そり遊びなどを楽しむ姿が見られる

ねらい

- ・気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
- ・友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しみ、興味や関心を広げる
- ・冬の自然に興味や関心をもち、雪や氷などに触れ親しんで遊ぶことを楽しむ

内容

- ・遊びに応じた身支度を自分でする
- ・寒さに負けず体を十分に動かして遊ぶ
- ・いろいろな遊びに興味をもち、取り組む
- ・昔話や童話に親しみ、イメージを膨らませる
- ・文字や数量に関心をもって遊ぶ
- ・友達のしていることに興味をもつ
- ・気の合う友達と遊びながらイメージを共有しようとする
- ・自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の思いを聞いたりする
- ・友達と一緒にのびのび表現会に向けての活動に取り組む
- ・友達とストーリーに沿って演じることを楽しむ
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、いろいろな楽器を演奏したりすることを楽しむ
- ・いろいろな遊具や素材などを使い、遊びに必要なものをつくって遊ぶ
- ・伝統的な行事（正月、節分）や伝承遊びに関心をもち遊ぶ
- ・風、雪あられなどに触れ親しんで遊ぶ中で、冷たさや寒さなどを体で感じ取る
- ・いろいろな雪遊びを楽しむ
- ・飼育物に興味をもち、喜んで世話をする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- したい遊びを十分に楽しんだり、いろいろな遊びに興味をもって取り組んだりできるように時間や場所を保障する
- ◎のびのび表現会に向けての活動を通して、みんなで取り組む楽しさが味わえるように、また、一人一人が興味関心を広げたりできるように声かけをする
- ストーリーが分かりやすい昔話や童話の絵本や紙芝居を準備しておく
- ◎友達とイメージを共有している姿を見守り、状況に応じて教師が一人一人のイメージをつなげたり、新しいアイデアを提示したりする
- ◎いざこざが起きた時は、自分達で解決しようとする姿を見守ったり、相手の思いにも気付くことができるように声をかけたりする
- イメージに合うものをつくることができるようにいろいろな素材を準備しておいたり、新しい素材を提示したりする
- 身に付けることでその気になれるような小物を準備したり場面に合ったBGMを盛り込んだりして、劇遊びの楽しさを味わえるようにする
- 落ち着いた場でカルタやトランプが楽しめるように、畳や低いテーブルなどを用意する
- いろいろなリズム楽器を使いやすいところに提示する
- ◎いろいろな楽器を使って遊ぶ中で、正しい使い方を知らせていく
- ◎天候や雪の状態に応じて計画を柔軟に変え、雪遊びの楽しさが味わえるようにする

意図的活動

- ・生活グループ表づくり
- ・正月遊び
- ・雪遊び
- ・のびのび表現会に向けての活動
- ・製作（鬼のお面づくり）
- ・味噌汁昼食

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測

健康・安全

- ・身体計測（計測を通して自分の体に興味をもつ）
- ・避難訓練（地震が起きた時の様子を知る、地震が起きた時の避難の方法を知る）

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのび表現会に向けて、劇の衣装の準備をお願いする
- ・のびのび表現会に向けての活動が続き、普段と生活の流れも異なることから負担に感じている幼児もいることを伝え、家庭ではゆったり過ごすように促す
- ・クリスマスのつどいで配布したものを園でも使って遊ぶことができるように、記名をして持たせてもらう
- ・学年懇談会（3学期のねらいや生活について、のびのび表現会について、ブーケづくりのお知らせ）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「北風小僧の寒太郎」「えりまきこれっくらい」「雪」「まめまき」「おにのパンツ」
- ・絵本など・・・「100ぴきのくまさん」「ねずみのさかなつり」
- ・紙芝居・・・「ぞうさんのねんがじょう」「ばくだんのおまんじゅう」
- ・素材・・・輪ゴム
- ・用具・・・ホッチキス
- ・自然・・・クロッカス、ヒヤシンス、雪

幼児の姿

- ・園庭に出て雪や氷の感触を楽しんだり、いろいろな雪遊びを楽しんだりする幼児らもいる
- ・のびのび表現会の練習を通して、友達と共通のイメージをもって活動することや自分なりに表現することを楽しんでいる
- ・のびのび表現会の5歳児の姿に憧れ、真似をして楽しむ姿が見られる
- ・ごっこ遊びを楽しむ幼児が多く、気の合う友達とイメージを共有して遊ぶことを楽しんでいる
- ・友達の遊びに刺激を受け、自分の遊びに取り入れ、発展させながら遊ぶことを楽しんでいる
- ・身近な遊具や素材などを工夫して遊びに取り入れて使う姿が見られる
- ・のびのび表現会で使った衣装や道具等を自分達の遊びに取り入れて楽しむ姿が見られる

ねらい

- ・のびのび表現会を楽しみにし、友達と一緒に喜んで練習に取り組む
- ・気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ
- ・いろいろな遊具や素材などを使って遊ぶことを楽しむ
- ・季節の移り変わりに興味関心をもつ

内容

- ・寒さに負けず、体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ
- ・のびのび表現会を通して、言葉のおもしろさや美しさに気付く
- ・友達と一緒にのびのび表現会に向けての活動に積極的に参加する
- ・自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の思いを聞き、受け入れようとしたりする
- ・気の合う友達とイメージを共有して遊ぶと楽しいことを知る
- ・友達とイメージしたものになりきってやりとりをしたり、劇遊びをしたりすることを楽しむ
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることを楽しむ
- ・いろいろな遊具や素材などを使い、遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ
- ・天候や気温の変化に目を向け、季節の移り変わりに気付く
- ・飼育物に親しみ、喜んで世話をする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎のびのび表現会に向けての活動を通して、一人一人が興味関心を広げたり、みんなで一つのものをつくりあげる楽しさや充実感を感じたりできるように声かけをする
- ◎のびのび表現会の練習では教師自身がモデルとなり台詞の言い回しを伝えたり、体表現して見本を見せたりする
- 気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、時間や場所を保障する
- 友達とイメージを共有して遊んでいる姿を見守り、状況に応じて教師が一人一人のイメージをつなげたり、新しいアイデアを提示したりする
- ◎いざこざが起きた時は、自分達で解決しようとする姿を見守ったり、相手の思いにも気付き、受け入れたりとすることができるように声をかけたりする
- イメージしたものをつくることができるように、いろいろな素材や材料を準備しておく
- のびのび表現会で使った小道具や大道具などを自由な発想で使えるように提示しておく
- ◎幼児が発見した自然の変化や園庭の様子を話題として取り上げ、季節の移り変わりに気付くようにする

意図的活動

- ・のびのび表現会に向けての練習
- ・のびのび表現会の再現遊び
- ・修了式に向けての活動
- ・絵画（のびのび表現会）
- ・製作（お雛様、作品帳づくり）
- ・味噌汁昼食

行事など

- ・のびのび表現会
- ・豆まきのつどい
- ・足形とり

健康・安全

- ・足形とり（土踏まずの形成具合に興味をもつ）
- ・手洗い、うがいの習慣が身に付き、自ら行う

家庭との連携・地域との連携

- ・修了式で5歳児に渡すブーケを親子で一緒につくる活動に参加してもらい、今後、修了式に向かって取り組んでいく生活を通して5歳児になる自覚を感じてほしいと願っていることを伝える

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「まめまき」「コンコンクシャンのうた」「空より高く」「園歌」「君も心の翼を広げて」
- ・絵本など・・・「ねずみのおいしゃさま」「10びきのかえるのふゆごもり」「ふくはうち おにもうち」
- ・紙芝居・・・「おなかのなかにおにがいる」「まめろくとおに」
- ・素材・・・・・・・・
- ・用具・・・・・・・・
- ・自然・・・・・・・・クロッカス、ヒヤシンス

幼児の姿

- ・修了式や入園式に向けての活動を通して進級することを楽しみにしたり、一人一人の幼児が自分なりに目的をもって生活したりしようとする
- ・気に入った遊びを繰り返し、発展させる中で、友達同士の絆を強めている幼児もいる
- ・身近な事象に興味や関心をもってかかわったり、自分の遊びに取り入れたりする
- ・入園したり進級したりしてくる友達のことを思い、保育室を整えたり、壁面を飾ったりしている
- ・修了式後、5歳児の保育室に興味をもち、様子を確かめに行く幼児が多い
- ・気候の変化や秋に植えた球根の生長、園庭の隅に残る雪の質の違いなどに目を向け、春の訪れを感じている

ねらい

- ・進級することに喜びの気持ちをもつ
- ・修了式や入園式に向けての活動に意欲的に取り組もうとする
- ・気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ
- ・身近な自然の変化に気付き、春の訪れを感じる

内容

- ・大まかな見通しをもって生活しようとする
- ・もうすぐ5歳児という自覚をもって生活する
- ・修了式に参加し、5歳児を祝う気持ちをもつ
- ・作品の整理をして一年間の思い出を振り返ったり、大きくなったことを実感したりする
- ・「おわかれのことば」や「おむかえのことば」を覚える
- ・一年間の思い出を話し合う
- ・イメージしたものになりきり、ごっこ遊びを楽しむ
- ・気の合う友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わう
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることを楽しむ
- ・いろいろな遊具や素材などを組み合わせて使い、遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ
- ・春を感じる製作物をつくり、保育室などの壁面を飾る
- ・一年間過ごした保育室をきれいにする
- ・気候や気温の変化や園庭の動植物の変化に目を向け、春の訪れを感じ取る
- ・飼育物の様子に関心をもったり、餌やりなどの世話を進んでしたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎もうすぐ年長になることに対する喜びや期待を大事にしなが、修了式や入園式に向けての活動などに進んで取り組めるようにする
- ◎修了式は5歳児の修了を祝う会であることを伝え、感謝とお礼の気持ちをもって参加できるようにする
- ◎「おわかれのことば」や「おむかえのことば」の練習を通して、言葉の意味を理解したり、語彙を広げたり、響きやリズムを感じたりできるように援助する
- 一年間にあったことを思い出し、話し合う場をもつ
- ◎友達とイメージを共有している姿を見守り、状況に応じて教師が一人一人のイメージをつなげたり、新しいアイデアを提示したりする
- 遊びに必要なものをつくって遊ぶ姿を認め、幼児のイメージに合うものをつくることできるように、いろいろな素材を準備しておく
- いろいろな素材で春の自然物をつくって飾り、室内を春らしい雰囲気にする
- ◎天候の良い日には積極的に戸外へ出ようとする幼児を認めていき、体で春の訪れを感じる場を大事にする

意図的活動

- ・修了式に向けての活動
- ・入園式に向けての活動
- ・作品整理
- ・製作（壁面掲示）
- ・持ち物の始末
- ・保育室などの整理整頓、清掃

行事など

- ・修了式
- ・終業のつどい
- ・お別れのつどい
- ・体重測定
- ・避難訓練

健康・安全

- ・春休みの過ごし方に関する話を聞く
- ・体重測定（検査時の約束を守り、受ける）
- ・避難訓練（避難時の約束事、避難の仕方を再確認する）

家庭との連携・地域との連携

- ・個別懇談（一年間の成長を喜び合う、今後の課題について）
- ・修了式の大切さや服装について知らせる

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「うれしいひなまつり」園歌「ゆめにむかって」「空より高く」「ハローはすてきなごあいさつ」「きみたち今日から友達だ」「ダンゴムシもぞもぞ」「春の小川」
- ・絵本など・・・「はるのおともだち」「はだかのおうさま」イソップ
- ・紙芝居・・・「うぐいすのふえ」「こどものきれいなおおところ」
- ・素材・・・和紙、フラワーペーパー、フラワーテープ、針金
- ・用具・・・
- ・自然・・・クロッカス、チューリップ

幼児の姿

- ・年長になった喜びを感じ、はりきって生活する幼児がいる。しかし中には、新しい担任や友達、保育室に戸惑ったり、不安な気持ちをもったりする幼児もいる
- ・自分の靴箱やロッカー、コートかけなどの場所を知り、自分の道具や洋服をかたづける姿が見られる
- ・朝のつどいや帰りのつどいなど、5歳児ならではの活動に興味をもち参加している
- ・昨年度から取り組んできた飼育物の世話や保健当番の仕事に興味をもち、張り切って取り組んでいる
- ・こいのぼりのつどいに向けて、張り切って係活動に取り組む姿が見られる
- ・3歳児や4歳児の友達に親しみの気持ちをもち、手助けをしたり、かかわろうとしたりしている
- ・4歳児からかかわりのある友達と一緒に遊んだり、4歳児の時にしていた遊びを再現して遊んだりする姿が見られる
- ・新しい遊具を使ったり、昨年度5歳児がしていた遊びを真似てやってみようとしたりする姿が見られる。しかし、遊びの場が広くなり、思うように使いこなすことができない幼児も多い
- ・昨年度から育てている植物の生長を喜ぶ姿が見られる

ねらい

- ・年長組になったことを喜び、はりきって生活する
- ・3歳児や4歳児に親しみの気持ちをもち、かかわる
- ・春の自然や身近な動植物に興味や関心をもってかかわったり、遊びに取り入れれたりする

内容

- ・朝のつどい、帰りのつどいに参加する
- ・生活表に関心をもつ
- ・入園式やこいのぼりのつどいの取り組みなどを通して年長児としての自覚をもつ
- ・飼育物の世話や保健当番を進んでおこなう
- ・新しい生活に期待をもち、自分たちで生活しやすいように、教師や友達と一緒に場を整えたり、必要なきまりや約束などを話し合っ決めて決めたりする
- ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを聞いたりする
- ・クラス全体の場での話し方や話の聞き方に気づく
- ・気の合う友達と一緒に遊ぶ
- ・教師や友達と同じイメージをもって活動する楽しさを知る
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることを楽しむ
- ・自分なりにイメージをもって製作する
- ・身近な素材や遊具を遊びに取り入れれたり工夫して使ったりする
- ・春の自然に興味をもち、見たり、触れたり、遊びに取り入れれたりする
- ・こいのぼりのつどいに参加する

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎5歳児になったことにプレッシャーを感じている幼児らには、一人一人の育ちを考慮しながらかかわる
- ◎新しい生活にその幼児なりのペースで親しむことができるようにする
- ◎入園式やこいのぼりのつどいに向けての活動を通して、5歳児としての自覚をもてるようにする
- ◎生活の中での具体的な場面で、生活に必要なきまりや約束を新たに決めたり再確認したりする
- 遊具や用具の置き場所を相談して決めたり、整えたりする場を設ける
- ホワイトボードに予定を書きおき、朝のつどいで一日の予定や当番などを確認する場をもつ
- 朝のつどいや帰りのつどい、牛乳タイムの時に、楽しかったことやみんなに知らせたいことなどを話することができる場を設ける
- ◎間違った言葉の使い方に気づいていけるように教えたり論じたりする
- ◎自分の思いを相手に伝えようとしている姿を認め、伝わりにくい時には教師が仲立ちをして互いの思いが理解しあえるようにする
- ◎身近な自然に興味をもち、育ててきた自然物の生長に気づいたり、身近な自然物を遊びに取り入れれたりすることができるようにする
- 春の草花や生き物に関する絵本や図鑑を準備したり、幼児が見つめてきた動植物を提示することができる場を設定したりする

意図的活動

- ・生活のルールについての話し合い、確認
- ・朝のつどい、帰りのつどいについての話し合い
- ・キャンパス内散歩（4歳児と）
- ・入園式の練習
- ・こいのぼりのつどいに向けての活動
- ・園庭整備

行事など

- ・始業のつどい
- ・入園式
- ・創立記念日
- ・こいのぼりのつどい
- ・身体計測、視力検査、聴力検査
- ・避難訓練
- ・春の遠足（角間キャンパス）

健康・安全

- ・生活のリズムを整える
- ・遊具や用具などの使い方を知り、安全に気をつけて遊ぶ
- ・安全に気をつけて公道を歩く
- ・身体計測、視力検査、聴力検査（自分の体に興味をもつ、計測、検査の意味や方法を知る）
- ・避難訓練（5歳児クラスからの避難経路を知る、避難時の約束（おはし）を再確認する）

家庭との連携・地域との連携

- ・5歳児ならではの生活の仕方を知らせたり、遊びの姿を伝えたりする。中でも不安を感じる保護者には、個別に幼児の園での姿を伝える
- ・キャンパス内の散歩に出かけ、幼稚園は附属学校の中に位置づいていることを伝える
- ・角間キャンパスに遠足に出かけ、金沢大学の附属幼稚園であることを伝える
- ・学年懇談会（本園の教育について、一年の見通し、学年目標、ねらいなどを伝える）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」、「小さいのち」、「そらとべあおむしくん」、「ハローはすてきなごあいさつ」、「さんぽ」、「こいのぼり」
- ・絵本など・・・「ちいさなたんけんたい」、「わんぱくだんのかくれんぼ」、「たんぽぽ」
- ・紙芝居・・・「はるのおきやくさん」、「どうしてこいのぼりあげるの」
- ・素材・・・布
- ・用具・・・アクリル絵の具、むしめがね
- ・自然・・・チューリップ、たんぽぽ、さくら

幼児の姿

- ・生活表（ホワイトボード）に関心を持ち、一日の生活の見通しをもちながら生活し始める
- ・係の仕事の内容が分かり、取り組んでいる
- ・気の合う友達同士誘い合って一緒に遊ぶことを楽しんでいる
- ・友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいるが、考えや思いが違ってぶつかる姿も多くみられる
- ・友達のしている遊びを、自分の遊びに取り入れる姿が見られるようになる
- ・これまでに経験してきた簡単なルールのある遊びをみんなと一緒に楽しもうとする
- ・チームゲームをすることを楽しみ、繰り返しやってみる
- ・5歳児になって使えるようになった遊具や場で遊ぶことを楽しんでいる
- ・自分たちで遊びの場をつくり、遊具や素材を工夫し、イメージを共有しながら遊ぶ姿が増えてくる
- ・戸外で活動することを好み、進んで体を動かす心地よさを味わうことを喜ぶ
- ・野菜の苗や花の種などを植え、世話をすることを通して植物の生長や収穫を楽しみにしている

ねらい

- ・いろいろな遊びに興味や関心を持ち、したい遊びを楽しむ
- ・教師や友達と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを味わう
- ・いろいろな遊具や素材などに十分かかわる
- ・春から初夏への自然の移り変わりや身近な動植物に興味をもち、自分たちの遊びに取り入れれたり世話をしたりしようとする

内容

- ・生活表に関心を持ち、一日の生活の見通しをもつ
- ・自分の係の仕事に取り組む
- ・友達とイメージを共有して遊ぶと楽しいことを知る
- ・友達のしている遊びに興味をもつ
- ・教師や友達と一緒にいろいろな活動に取り組む
- ・集団遊びのルールを理解し、友達と一緒に楽しむ
- ・自分たちが遊びやすいようにルールをつくって遊ぶ
- ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを聞いたりする
- ・クラス全体の活動の中での話の聞き方や、話し方に気づく
- ・お母さんに感謝の気持ちをもってプレゼントをつくる
- ・いろいろな素材や遊具に触れ親しむ
- ・製作活動の中でいろいろな素材を使いながら、自分のイメージを表そうとする
- ・使い慣れた身近な素材や遊具を遊びに取り入れれたり、工夫して使ったりする
- ・自分のイメージを身近な素材や遊具を使い、表しながら遊ぶ
- ・戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・身近な草花や動植物に興味をもち、かかわる
- ・畑の土づくりや夏野菜の苗植えを通して、草花の生長を楽しみにし、関心をもちながら世話をする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 一日の生活の流れが分かり、自分なりに見通しをもって生活することができるように、ホワイトボードに提示する
- ◎生活の中の具体的な場面で、生活に必要なきまりや約束を新たに決めたり再確認したりする
- 朝のつどいや帰りのつどい、牛乳タイムの時に、楽しかったことやみんなに伝えたいことなどを話すことができる場を設ける
- ◎教師も一緒に遊びながら、遊び方を示したり、幼児の工夫を認めたりしながら、繰り返し楽しむことができるようにする
- ◎生活の中で自分の思いを相手に伝えようとしている姿を認め、伝わりにくい時には教師が仲立ちをして互いの思いが理解しあえるようにする
- 自分のイメージするものがつくれるように素材の特性を知らせたり、素材や用具を提示したりする
- 天候のよい日には、戸外での遊びに興味をもち、友達と誘い合って、自分たちの遊びの場を準備できるように、用具や道具を準備しておく
- ◎園の周りの自然に目を向け、遊びに取り入れていけるような言葉かけをする
- ◎栽培物を植える前に苗や種に触れたり、図鑑を見たりしながら、栽培物への興味をもてるようにする

意図的活動

- ・ チームゲーム
- ・ 母の日のプレゼントづくり
- ・ 壁面製作
- ・ 野菜や花などの種まきや苗植え
- ・ 園外保育（バラ公園）
- ・ 小学校の運動会見学

行事など

- ・ 尿・寄生虫検査
- ・ 歯科検診
- ・ 内科検診

健康・安全

- ・ 安全に気をつけて公道を歩く
- ・ 歯科検診、内科検診（検診の受け方を知る。体の健康に関心をもつ）

家庭との連携・地域との連携

- ・ 小学校の運動会を見に行き、自分達の生活への刺激となるようにする
- ・ 戸外での遊びが増え、運動服の汚れも激しくなるため、着替えの準備や汚れものを入れるビニール袋などの準備をしてもらう

補助資料

- ・ 歌、手遊びなど・・・「おひさまパワー」、「うたえバンバン」、「手のひらを太陽に」
- ・ 絵本など・・・「やさいのたね」、「ダンゴムシ」、「宇宙旅行」、「たべるのだいすき」
- ・ 紙芝居・・・「ママにはないしょね」、「おかえりつばめさん」
- ・ 素材・・・紙粘土、磁石、針金、緩衝材
- ・ 用具・・・両面テープ
- ・ 自然・・・ダンゴムシ、アリ、オタマジャクシ、フジ、クローバー、シロツメクサ
野菜の苗（サツマイモ、ピーマン、キュウリ、ナス、トマトなど）
- ・ その他・・・風をかんじる遊び（たこ・紙飛行機）

幼児の姿

- ・わくわくワールドに向けての係活動などに積極的に取り組み、楽しみに待つ幼児が多い
- ・気の合う友達同士で同じ目的をもち、遊ぶことを楽しんでいる
- ・話し合いの場などで自分の思いを伝えようとする幼児が増えてくる
- ・グループ活動を通して、友達の思いを知ったり、自分の思いを伝えたりしながら、グループで一緒に活動することがどのようなことかわかるようになる
- ・グループでの話し合い活動などでは、思いの食い違いからいざこざも増えるが、自分たちで解決しようとする姿も見られるようになる
- ・いろいろな遊具や素材を工夫して使いながら遊びの場や遊びに必要な物をつくっている
- ・自然物（砂、土、水、植物）の特性に気づき、自分たちの遊びに取り入れようとしている

ねらい

- ・自分なりに目的をもって、遊びや活動に取り組む
- ・友達や教師と一緒に考えを伝え合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・梅雨期の自然や動植物の生長や変化に興味や関心をもつ

内容

- ・5歳児としての生活の仕方を身につけながら、自分なりに見通しをもって生活する
- ・状況に応じて、必要なきまりや約束などを話し合っ
- て決める
- ・公共の施設での行動の仕方を知る
- ・友達のしている遊びに興味をもち、してみる
- ・友達と一緒にいろいろな活動に取り組む
- ・友達や教師の話を最後までしっかり聞く
- ・感じたことや考えたことを相手に分かるように話す
- ・自分の思いや考えを受け入れてもらえたうれしさを味わう
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、踊ったりすることを楽しむ
- ・お父さんへの感謝の気持ちをもってプレゼントをつくる
- ・身近な素材を遊びに取り入れたり、工夫して使ったりする
- ・いろいろな素材に触れ親しむ
- ・自分のイメージをかいたりつくったりして表現する
- ・戸外での遊びに進んで参加し、戸外で過ごす楽しさを味わう
- ・梅雨期の自然に興味をもち、見たり、触れたり、調べたり、遊びに取り入れたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- のびのびと安定した気持ちで生活できるように、時間や場の設定にゆとりを持たせる
- ◎生活の中で、その子なりに努力している姿を認め、評価し幼児が自信をもって行動できるようにする
- ◎生活の中の具体的な場面で、生活に必要なきまりや約束を新たに決めたり、再確認したりする
- ◎公共の施設を利用するときは、マナーやルールについて伝え、幼児なりに意識して行動できるよう働きかける
- わくわくワールドに向けて、幼児一人一人の育ちを考慮したグループづくりをする
- ◎教師も積極的に戸外に出て、のびのびと遊ぶ心地よさを幼児とともに味わうようにする
- ◎自分の思いを相手に伝えようとしている姿を認め、伝わりにくい時は、教師が仲立ちして互いの思いが理解しあえるように援助する
- 教師も一緒に遊びながら、一人一人と絆をつくったり、幼児同士のつながりのきっかけをつくったりする
- ◎幼児一人一人の表現方法を大切に見守る。必要に応じて、教師が表現してみせ、幼児のイメージがより膨らむようにする
- よく使う道具や素材などは自分達で出し入れしたり、使ったりしやすい所に置いておく
- 幼児らが興味をもち、不思議に感じたことや思ったことを自分たちで調べられるように、絵本や図鑑などを準備する
- ◎動植物の世話を積極的に行えるように、幼児のつぶやきや思いを聞きながら教師も一緒にかかわるようにする

意図的活動

- ・わくわくワールドに関する活動
- ・チームゲーム（しっぽとり、こおりおになど）
- ・父の日のプレゼントづくり

行事など

- ・プラネタリウム見学
- ・日曜参観
- ・体重測定
- ・耳鼻科検診
- ・眼科検診

健康・安全

- ・身の周りを清潔に保ち、必要な習慣を身につける
- ・雨に濡れたカバンやコート、泥で汚れた服などを自分で始末する
- ・手洗い、足洗い、汗の始末、うがいなど、生活に必要なことに自分で気づいてしようとする
- ・安全に気をつけて公道を歩く
- ・体重測定（大きな声で名前を言う、静かに待つ、自分の成長を知る）
- ・耳鼻科検診、眼科検診（大きな声で名前を言う、静かに待つ、自分の体に興味をもつ）
- ・わくわくワールドにむけて紙パンツの指導

家庭との連携・地域との連携

- ・日曜参観（平日に普段の様子を参観することができない家族に、園での幼児の姿を知ってもらう）
- ・着替え袋の中の服を夏用の服にかえてもらう
- ・わくわくワールドに向けてのお父さん説明会（参加するお父さんボランティアの方にねらいや活動などを伝える（日曜参観後）父親の役割や係の仕事の分担を決める）
- ・わくわくワールドに向けての保護者説明会（わくわくワールドの概要やねらいを伝え、持ち物の準備を幼児と一緒にしてもらうなど協力を依頼する）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「にじ」「あめふり水族館」「翼をください」「遠き山に日は落ちて」、「もえろよもえろ」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのはしれいちばんぼし」、「ちいさなきいろいかさ」「ジャックと豆の木」
- ・紙芝居・・・「とけいじいさんのとけい」、「ふしぎなきゅうり」
- ・素材・・・モール、カラーひも、片面段ボール、フェルト
- ・用具・・・ボンド
- ・自然・・・カタツムリ、オタマジャクシ、カエル、テントウムシ
フジ、アジサイ、ツユクサ、カラスノエンドウ、ピーマン、キュウリ、ナス、トマト

幼児の姿

- ・わくわくワールドに参加し、いろいろな活動に意欲的に取り組み、自分なりに力を精いっぱい発揮している。また、家族から離れて過ごすことに不安を感じながらも頑張ろうとしている幼児がいる
- ・当番活動や係の仕事に自分なりに責任をもって取り組む幼児が多い
- ・リレー遊びでは、自分たちのチームが勝てるように応援したり、自分なりに一生懸命走ろうとしたりする姿が見られる
- ・気の合う友達同士で同じ目的をもち、遊ぶことを楽しんでいる
- ・話し合いの場などで自分の思いを伝えようとしていたり、友達の思いを聞こうとしていたりしている
- ・喜んでプール遊びを楽しんでいる
- ・いろいろな遊具や素材、自然物を工夫して使いながら、遊びの場や遊びに必要な物をつくっている
- ・栽培している野菜が実をつけたことに喜びを感じる幼児が多い。また、育てた野菜を調理する場面を見たり友達と一緒に味わったりすることで、野菜への苦手意識が薄れる幼児がいる
- ・夏の草花や生き物に興味をもち、名前や世話の仕方を図鑑で調べる幼児がいる

ねらい

- ・自分なりに目的をもって、遊びや活動に取り組む
- ・友達や教師と一緒に考えを出し合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・夏の自然に興味をもち、触れたり、遊びに取り入れたりする

内容

- ・友達と力を合わせて活動する
- ・気の合う友達とイメージを共有しながら遊ぶ
- ・友達と考えを出し合いながら遊ぶ
- ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを聞いた受け入れたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり踊ったりすることを楽しむ
- ・一学期の思い出やこれから頑張りたいことを話す
- ・プール遊びの約束を知り、約束を守りながらプール遊びを楽しむ
- ・いろいろな遊具や素材、自然物などに十分にかかわり、その特性に気づく
- ・遊具や用具に親しみ、安全に気をつけながら工夫して遊ぶ
- ・いろいろな素材を工夫して使い、自分なりのイメージを表現する
- ・自分たちで育てた夏野菜の収穫を喜び、味わう
- ・星や宇宙、夏の気象などに興味をもつ
- ・夏の虫をつかまえたり、調べたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎生活の中でその子なりに目的をもって取り組んでいる姿を認めたり、周りの幼児らに広めたりする
- ◎一学期の活動を振り返りながら、自分の成長に気づくことができるようにする
- ◎プール遊びにかかわるいろいろな約束事をその場をとらえて具体的に話す
- 自分達で考えを出し合って遊んでいる姿を認め、見守る
- 幼児が楽しかった遊びや出来事を伝え合い、興味関心を広げることができるような場を設定する
- ◎いざこざが起きた時には、自分の思いを相手に伝えられるように援助したり、友達の思いを聞くことができるように促したりする
- ◎自分の思いが言葉で十分に伝わっていない場合には、思いを伝えようとする姿を認めながら、適切な言葉を教えたり仲立ちしたりする
- ◎幼児が自分のイメージを表現しやすいように、いろいろな素材や用具を使いやすい所に準備したり、一緒に表現活動を楽しんだりする
- 幼児が夏野菜の色や形、においや感触などに興味を持てるよう話題にしたり、幼児が気づいたことを受け止めたりする。また、収穫した野菜そのものの味を味わえるように調理方法や場の設定を工夫する
- 夏の草花や生き物、天体、育てている野菜などに関する絵本や図鑑を準備したり、幼児が見つめてきた動植物を提示することができる場を設定したりする

意図的活動

- ・七夕に関する活動（七夕飾りや短冊づくり、歌、踊りなど）
- ・プール遊び
- ・絵画（わくわくワールド）
- ・畑の草取り
- ・保育室等の整理整頓、清掃

行事など

- ・終業のつどい
- ・七夕のつどい
- ・夏野菜パーティ
- ・避難訓練
- ・わくわくワールド
- ・足形とり

健康・安全

- ・手洗い、足洗い、汗の始末、うがい、水分補給など、生活に必要なことに自分で気づき、自分でする
- ・避難訓練（「おはし」の約束を守る、遊びの最中の避難の仕方を再確認する、素早く避難し整列する）
- ・足形とり

家庭との連携・地域との連携

- ・夏野菜パーティにおいて、苦手な野菜を食べることができた幼児の保護者にはそのことを伝え、家庭での食事につなげてもらう
- ・プール遊びの準備をしてもらう
- ・学年懇談会（わくわくワールドへの取り組みの様子や当日の様子を伝える）
- ・個別懇談会（一人一人のわくわくワールドへの取り組みの様子、生活と遊びの様子や変容を伝える）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「宇宙は楽しいフェスティバル」、「だれかがほしを見ていた」
- ・絵本など・・・「あっちゃんのはたけ」、「わんぱくだんのかいていたんけん」、「どうぶつえんのなつやすみ」
- ・紙芝居・・・「ほしとりきつちよむさん」、「たなばたさま」、「おぼれたカップ」
- ・素材・・・折り紙
- ・用具・・・水彩絵具、筆、筆洗い用バケツ
- ・自然・・・カブトムシ、クワガタムシ、バッタ、クモ、セミ、ピーマン、キュウリ、ナス、トマト

幼児の姿

- ・ 2学期がはじまり、友達や教師との再会を喜び、一緒に生活をしながら、園生活のリズムを取り戻している
- ・ 夏休みの体験を話し合ったり、遊びに取り入れたりして楽しむ幼児がいる
- ・ 戸外で思いっきり体を動かして遊んだり、友達と一緒にリズム遊びやリレー遊びに取り組んだりすることを楽しんでいる
- ・ のびのびフェスティバルの係について話し合い、自分達でフェスティバルを盛り上げていこうとする気持ちが見られる
- ・ 実習生に親しみをもち、かかわりを楽しむ姿が見られる
- ・ 園庭で虫とりをしたり、秋の草花を摘んだりする姿が見られる
- ・ サツマイモ畑の草取りや芋掘りでは、畑の変化や虫に関心をもつ姿が見られる

ねらい

- ・ 自分の思いを伝えながら、友達と一緒に活動する
- ・ リレーなどで全力で走ったり、音楽に合わせてダイナミックに体を動かしたりする心地よさを味わう
- ・ 身近な自然の様子に気づき、興味をもったり見たり触れたりかかわったりする

内容

- ・ 走ったり跳んだり、競ったりしながら、自分なりに運動する力をつけようとする
- ・ 全身で水に親しみながら、プール遊びを楽しむ
- ・ いろいろな運動遊びに興味をもち、体を十分動かして遊ぶ
- ・ 遊び方やルールについて友達と一緒に考える
- ・ 自分の考えを友達や教師に分かるように話したり、友達や教師の話をしっかり聞いたりする
- ・ 曲に合わせて友達と一緒にリズムカルに動いたり踊ったりすることを楽しむ
- ・ のびのびフェスティバルに向けて環境づくりをする
- ・ 友達と体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、自分の力を発揮していく
- ・ さまざまな国旗に親しむ
- ・ いろいろな素材を工夫して使い、自分のイメージするものをつくることを楽しむ
- ・ 夏から秋への自然の変化に気づき、興味をもって見たり、かかわったりする
- ・ 畑の変化に、興味関心をもつ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎のびのびフェスティバルに向けて、自分達で成功させるという思いをもつことができるように、係を決めたり、練習に取り組んだりする
- ◎のびのびフェスティバルに向けて、一人一役を担わせるようにし、年長としての自覚を強める
- 休憩時間を確保したり、手洗い・うがい・水分補給をするように促したりして、幼児の健康面に配慮する
- 人間関係の広がりを期待して、生活グループをつくる
- ◎自分達が楽しめるようリレーのルールについて話し合える雰囲気を大切にする
- 十分に体を動かして遊ぶ心地よさを味わえるように、教師も一緒に楽しんだり、頑張っている姿を認めたりする
- ◎つどいや話し合いの場では、相手を意識した話し方をするように促したり、分かりやすい話し方を認めたりする
- 季節感が感じられたり、イメージがより膨らんだりするような絵本、物語、音楽などを準備したり、壁面構成をしたりする
- 幼児らが虫や生き物の生態を調べることができるように、絵本や図鑑、虫めがねを置いておく

意図的活動

- ・生活グループ表づくり
- ・プール遊び
- ・運動遊び
- ・中学校運動会見学
- ・製作（壁面、万国旗）
- ・畑の草取り、芋掘り

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測
- ・視力検査
- ・教育実習

健康・安全

- ・汗の始末や水分補給の必要性を知り、進んでする
- ・園庭整備（石拾い、草むしり）をしながら、自分達の園庭の安全に関心を高める
- ・サツマイモのつるの筋とりを手伝い、煮物を味わう
- ・避難訓練（「ケヤキコース」を再確認し正しい避難経路を使う、素早くズックを履いて一次避難をする）
- ・身体計測（大きな声で名前を言う、静かに待つ、自分の成長を知り喜ぶ）
- ・視力検査（大きな声で名前を言う、静かに待つ、目によい生活について考える）

家庭との連携・地域との連携

- ・汗ふきタオルや水分補給のための水筒を準備してもらう
- ・学年懇談会（2学期の生活について、ねらいや予定を伝える）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「ワイワイうんどうかい」、「パレード」、「青い空に絵をかこう」、「あきのバイオリン」
- ・絵本など・・・「こっきのほん」、「とんぼのグライダー」、「つきのうさぎ」
- ・紙芝居・・・「てんからおだんご」、「つきみだんごとまほうのほうし」
- ・素材・・・不織布
- ・用具・・・鉛筆
- ・自然・・・サツマイモ、藤のつる、バッタ、カマキリ、ミミズ、オケラ

幼児の姿

- ・リレー遊びでは勝敗を意識して、懸命に走ったり、大きな声で応援したりする姿が見られる
- ・係の仕事や練習をそれぞれのグループに分かれて一生懸命にやっている姿が見られる
- ・サッカーやリレー遊びなどでは体を十分に動かしながら楽しんでいる
- ・リレーの作戦タイムなどを通して、考えを出し合いながら話し合いを進めていこうとするようになる
- ・3、4歳児とかかわる場面では、年長児としての自覚をもち、活動をリードしようとしたり、優しく教えてあげようとしたりする姿が見られる
- ・園庭の固定遊具と構成遊具を組み合わせ、迷路や基地などをつくって遊ぶ姿が見られる
- ・園庭の草花や木の実を素材とし、ままごと遊びを楽しんでいる

ねらい

- ・友達と一緒に取り組んだ活動の経験を生かし、共通のイメージや目的をもって活動する
- ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら活動する
- ・自然の変化に気づき興味や関心をもって見たり、身近な動植物に進んでかかわったりする

内容

- ・いろいろな運動遊びに興味をもち、体を十分動かしたり、挑戦したりして遊ぶ
- ・のびのびフェスティバルに向けての練習や係活動に取り組む
- ・自分の力を精一杯発揮したり、友達と力を合わせて活動したりする
- ・3、4歳児とのかかわりを通して、年長児としての自覚を強める
- ・遊び方やルールについて気づいたことを話し合ったり、自分達なりの新しいルールをつくったりする
- ・自分の考えを友達や教師に分かるように話す
- ・友達の話をしっかり聞き、思いを受け入れる
- ・遊びに必要な物を自分で作り、利用する
- ・園庭の固定遊具や構成遊具などを工夫して組み合わせ、遊びの場をつくったり、遊び方を考えて遊んだりする
- ・秋の虫を捕まえたり、調べたりする
- ・秋の草花や木の実を使っているいろいろな物をつくったり、遊んだりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎のびのびフェスティバルに向けて一人一役を担い、年長としての自覚を強める
- バトン、ライン引き、リズム表現で使うものなど、のびのびフェスティバルに関する用具の置き場所を決め、幼児が必要に応じて使えるようにしておく
- リレーやリズム表現、係活動など様々な活動を通して、競い合うことの楽しさ、考えを出し合う面白さ、役立つ喜びを味わえるような機会を多くもつ
- ◎様々な活動の場で、自分達でルールをつくることができるように、必要に応じて教師も一緒に考えたり、お互いの思いを確認したりする
- ◎遊びに応じて場所の取り方や安全な行動の仕方について気づくような声かけを心がける
- 園庭の草花や木の実をつかっていろいろな遊びを工夫したり製作したりできる場を設ける
- 秋の自然に興味関心をもつことができるように、幼児が見つけてきた秋の自然物を紹介する場を設けたり、秋の自然物を飾るコーナーをつくったりする

意図的活動

- ・ のびのびフェスティバルに向けての活動（競技、表現、係活動）
- ・ 絵画（のびのびフェスティバル）

行事など

- ・ のびのびフェスティバル

健康・安全

家庭との連携・地域との連携

- ・ 衣替え、着替え袋の中身の確認などについて、幼児が自分で保護者に伝えられるように声をかける
- ・ のびのびフェスティバルに向けて頑張っている姿を伝え、家でも励ましてもらえるようにする

補助資料

- ・ 歌、手遊びなど・・・「パワフルパワー」、「あきってすてきなおとがする」、「虫のこえ」、「はなさきやま」
- ・ 絵本など・・・「さつまいも」、「さるかに」、「はなさきやま」
- ・ 紙芝居・・・「カメレオンの王さま」、「ばけくらべ」、「ごへいとてっぼう」
- ・ 素材・・・段ボール
- ・ 用具・・・のこぎりカッター、絵の具、筆
- ・ 自然・・・ハツカダイコン、ドングリ、柿、コオロギ

幼児の姿

- ・目的や見通しをもって生活している
- ・一人一人が自分なりに自信をもって様々な活動に取り組むようになる
- ・気の合う友達と声をかけ合い、場やイメージを共有しながら遊びこむ幼児が多くなる
- ・自分達でルールを確認しながら遊ぶ姿が見られるようになる
- ・いろいろな人々とかかわる中でいろいろな刺激を受け、自分達の生活に生かそうとしている
- ・今までの経験をもとに、遊びの中で生じたトラブルを幼児同士で解決し、遊びを続けるようになってくる
- ・3、4歳児に親しみをもち、自分達の遊びに誘って一緒に遊ぶ姿が見られる
- ・道具や素材などの特性が分かり、遊びの中に取り入れようとする
- ・収穫したものを調理したり、食べたりすることを喜んでいる
- ・きりやめうちを使い、ドングリゴマや木の実アクセサリーなどをつくって楽しんでいる

ねらい

- ・めあてや見通しをもって行動しようとする
- ・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら、一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・いろいろな人々とかかわり、生活経験を広げる
- ・身近な自然に親しみ、自分達の生活に取り入れる

内容

- ・自分なりの目的や見通しをもって生活する
- ・友達と場やイメージを共有しながら、繰り返して遊ぶことを楽しむ
- ・遊び方やルールについて気づいたことを話し合ったり、自分たちなりの新しいルールをつくったりする
- ・自分の考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせてリズムカルに動いたりして遊ぶ
- ・役割分担しながら遊ぶ
- ・いろいろな人々と一緒に様々な活動に進んで参加する
- ・新しい活動に興味をもって参加する
- ・芋菓子づくり、金箔芋茶会など保護者と共に活動する
- ・友達と一緒にいろいろな素材や用具を使って、イメージするものをつくる
- ・素材を選んで遊びに必要な物を工夫してつくり、それらを使って遊ぶ楽しさを味わう
- ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう
- ・秋の自然物を遊びの中に生かそうとする
- ・水栽培をしたり、球根を植えたりして、植物の生長を楽しむにする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎年長としての自覚が強まるように、一人一人が役割を担う場を設ける
- ◎繰り返し遊んでいる姿や、友達と力を合わせてルールをつくったり変えたりしている姿、役割を分担している姿を認め、場合によってはクラス全体に広めていく
- ◎幼児同士のトラブルについては第三者のかかわりに配慮しながら、状況に応じて事実の確認をし、判断を幼児らに任せる
- ◎クラス全体が集う場において、開放的な雰囲気心がけるとともに、積極的に表現しない幼児らを支えていく
- ◎いろいろな人々と一緒に活動する機会をもち、興味関心を広げられるようにする
- 3、4歳児と一緒に活動したことを振り返ったり、自分達のかかわり方を評価し合ったりする場をもつ
- ◎自分の思いを3、4歳児にも分かるように話したり、3、4歳児の思いに気づいて受け入れたりしている姿を認めていく
- 工夫したり、試したり、挑戦したりできるよう、一輪車、大縄跳び等の運動用具やキーボード、打楽器等の楽器を数量に留意して準備する
- 木材や木の実を材料とし、木工用具を使っていろいろな遊びを工夫したり製作したりできる場を設ける

意図的活動

- ・チームゲーム（ドッジボール、二人三脚など）
- ・なかよしウィークの活動
- ・芋菓子づくり
- ・絵画（金箔芋茶会）

行事など

- ・なかよしウィーク
- ・芋菓子づくり
- ・金箔芋茶会
- ・避難訓練
- ・交通安全教室
- ・体重測定
- ・日曜参観

健康・安全

- ・箸の正しい持ち方を知り、正しく持とうとする
- ・体重測定（はっきり名前を言う、自分の体の成長を知り喜ぶ）
- ・避難訓練（「かしわぎコース」を再確認し、正しい避難経路を使う、二次避難の必要性と方法を再確認する）
- ・交通安全教室（バスマナーを知る、公道の歩き方を確認する、横断歩道の渡り方を知る）

家庭との連携・地域との連携

- ・金箔芋茶会の身支度（白靴下、襟付きの服）をお願いする
- ・芋菓子づくり、金箔芋茶会に向けて、ボランティアの保護者と打ち合わせをしたり振り返りをしたりする
- ・日曜参観（親子で触れ合って遊ぶ）
- ・学年懇談会（2学期の様子や幼児の学びについて、今後に向けての課題などを伝える）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「まっかなあき」、「山のごちそう」、「大きな古時計」、「実りの秋」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのロボットランド」、「ともだちや」、「てんぐのかくれみの」
- ・紙芝居・・・「はなをおったてんぐ」、「らいおんのめがね」
- ・素材・・・木板、釘、たこ糸、ストロー
- ・用具・・・きり、めうち、のこぎり、かなづち、針、木の実穴あけセット
- ・自然・・・大豆、ヒヤシンス、チューリップ、ドングリ

幼児の姿

- ・寒い中でも友達と一緒に身体を十分に動かす遊びを楽しむ
- ・クリスマスにつどいに向けて、自分なりに目的をもって練習に取り組む幼児が多い
- ・一日の生活の流れを考えたり、自分達で遊びや生活の場を整えたりしながら生活している
- ・自分の思いを分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら生活する幼児が多い
- ・道具や素材などの特性が分かり、遊びに応じて選んでいる
- ・冬の自然やこの時期ならではの行事などに関心をもってかかわったり取り組んだりする

ねらい

- ・共通のめあてや生活の見通しをもって行動しようとする
- ・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら、一緒に遊びや活動を進めようとする
- ・季節の移り変わりにや年末年始の街の様子などに気づき、興味や関心をもって見たり、自分達の生活に取り入れようとしたりする

内容

- ・冬の安全で健康的な過ごし方について話し合い、状況に応じて行動する
- ・生活の中でルールをつくったり変えたり、役割を考えたりしながら生活しようとする
- ・学年全体での取り組みを通して友達と楽しさを共有したり、達成感を感じたりする
- ・自分の考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりする
- ・いろいろな友達と思いを伝え合いながら一緒に遊ぶ
- ・共通の目的に向けて、友達と協力したり工夫したりして遊びを進めることを楽しむ
- ・友達と一緒に遊ぶ中で生じた課題を自分達で解決しながら、繰り返し遊ぶ
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて楽器を演奏したりすることを楽しむ
- ・遊具や用具の特性を生かし、安全に気をつけながら工夫して遊ぶ
- ・素材を選んで遊びに必要な物を工夫して作り、それらを使って遊ぶ楽しさを味わう
- ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう
- ・水や風の冷たさや風景の変化を感じ、冬の訪れに気づく
- ・年末年始の行事などに積極的に参加する

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 自分達で見通しをもって生活できるように、行事などに向けてのスケジュールを掲示する
- ◎行事などに向けて年長児としての自覚が強まるような言葉かけをしたり、張り切って活動する姿を認めたりする
- ◎冬を健康的に過ごせるように、衣服の調節、手洗いやうがいの必要性を伝え、自分から進んで行えるようにしていく
- ◎繰り返し遊んでいる姿や友達と力を合わせてルールをつくったり変えたりしている姿、役割を分担している姿などを認め、場合によってはクラス全体に広める
- ◎幼児同士のいざこざについては、第三者のかかわりに配慮しながら状況に応じて事実の確認をし、判断は当事者に任せる
- ◎クラス全体の場において、積極的に表現しない幼児らを支え、自ら表現した場合にはその姿を認め自信へとつなげていく
- ◎イメージしたことを実現するためにいろいろな素材や用具を自分で選ぶ姿を認めていく
- 楽器演奏に興味関心もてるよう、自由に楽器が使えるように準備しておく（鉄琴、木琴、キーボードなど）
- もち米を研ぐ、蒸す、つくなど、もち米がおもちになる様子を見たり、みんなでもちを食べたりすることを通し、食べ物への興味もてるようにする

意図的活動

- ・クリスマスをつどいに向けての活動（歌、合奏など）
- ・味噌汁昼食
- ・特別支援学校訪問、交流
- ・製作（壁面、クリスマスの飾り）
- ・保育室や園庭の整理整頓、清掃
- ・もちものの整理整頓

行事など

- ・終業のつどい
- ・クリスマスをつどい
- ・もちつき

健康・安全

- ・バスマナーを守って公共バスに乗車する
- ・手洗い、うがいの大切さがわかり、自分から進んでする
- ・保育室の換気の必要性を知る
- ・冬休みの生活の話聞き、守ろうとする

家庭との連携・地域との連携

- ・クリスマスをつどいで日本の伝承遊びができるものをプレゼントし、家庭でも楽しんでもらうように伝える
- ・特別支援学校訪問の日時や交流内容、クリスマスをつどい当日の日程などについて、特別支援学校の先生と打ち合わせをする。その後反省会を行う
- ・個別懇談会（一人一人の二学期の様子、クラスや学年の取り組みの中での姿や今後の課題）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「サンタが町にやってくる」、「ヤッター！サンタがやってくる」、「小さなトナカイ」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのクリスマス」「十二支のおはなし」「かさじぞう」
- ・紙芝居・・・「えほんのパーティ」、「いちばんはじめのサンタクロース」
- ・素材・・・藤のつるのリース
- ・用具・・・
- ・自然・・・ヒヤシンス

幼児の姿

- ・生活の見通しをもち、遊びや活動に積極的に取り組んでいる
- ・寒さに負けず、戸外でそり遊びやかまくらづくりなどを友達と一緒に楽しんでいる
- ・トランプやすごろく、百人一首などの正月遊びを自分たちで楽しめるようになる
- ・友達と一緒に好きな音楽に合わせて楽器を演奏することを楽しんでいる
- ・こま回しやお手玉などを繰り返し練習したり、挑戦したりする幼児が多くなる
- ・跳び箱、跳び縄、大縄跳びなど、運動遊びにも興味をもち、繰り返し挑戦する姿が見られる
- ・のびのび表現会に向けて、自分の劇の役、合奏のパート練習や係の仕事などしなければならないことが分かり、取り組む姿が見られる
- ・水栽培の球根の成長を楽しみにし、水換えの世話をしている

ねらい

- ・のびのび表現会に向けて、共通のめあてや生活の見通しをもって生活する
- ・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら一緒に遊びや活動を進める
- ・冬の自然現象や動植物に興味や関心をもち、自分から働きかける

内容

- ・見通しをもって生活する
- ・寒さに負けず、友達と一緒に体を十分に動かす遊びを楽しむ
- ・生活の中でルールをつくったりかえたり役割を考えたりしながら生活する
- ・共通の目的に向けて友達と協力したり工夫したりして遊びや活動を進める
- ・友達と一緒に遊びながら、遊び方を教え合ったりルールを守って遊んだりする
- ・友達と一緒に活動する中で生じた課題を話し合い、自分達で解決しながら生活しようとする
- ・感じたことや考えたことを相手に分かるように話す
- ・友達や教師の話最後までしっかり聞く
- ・表現会に向けて友達と一緒に歌を歌ったり合奏したりすることを楽しむ
- ・表現会に向けて、友達と一緒に劇づくりを楽しむ
- ・素材や遊具を目的に合わせて使い、イメージを実現する
- ・つくったものを遊びや活動に利用する
- ・文字や数量などに興味関心をもつ
- ・あられ、みぞれ、雪、氷などに興味をもち、見たり触ったりして遊ぶ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 一日のスケジュールを幼児らと相談する場をもつ
- ◎表現会に向けての話し合いでは、年長児として頑張ろうという気持ちが盛り上がるようにする
- ◎表現会に向けての劇や合奏の練習の中で、自分なりの表現をしたり、頑張っている姿を全体で認める
- ◎いろいろな友達と共通の目的をもって遊ぶことができるように意図的にグループ編成をしたり、グループ単位の活動を取り入れたりする
- 遊びや生活の中のいざござに関しては、互いの考えを分かりあえるように、相互に十分話し合い解決できる場と時間をできるだけ保障する
- 遊びや活動の中で工夫している点や努力している姿を認め、互いの良さを認めあえる雰囲気をつくる
- 文字や数量などに興味や関心をもてるような遊びを提示したり、遊具や用具などを準備したりする
- 各家庭で正月に遊んだ遊びやゲームなどを持ち寄ったり、園にあるいろいろな正月遊びを提示したりし、自由に使えるようにしておく
- ◎冬の自然を体で感じられるように戸外に出て遊ぶようにする

意図的活動

- ・正月遊び
- ・雪遊び
- ・生活グループ表づくり
- ・表現会に向けての活動
- ・まめまきのつどいに向けての活動（鬼の面づくり）

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測

健康・安全

- ・身体計測（計測を通して、自分の体に興味をもち、体の成長を喜ぶ）
- ・避難訓練（地震が起きたときの様子を知る、地震が起きたときの避難の方法を知る）

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのび表現会に向けて、劇の衣装の準備をお願いする
- ・のびのび表現会に向けての活動が続くので、家庭で十分に休息を取ってもらうようお願いする
- ・クリスマスのつどいで配布した、日本の伝承遊びができるもの、及び各家庭で正月に遊んだ遊びやゲームなどを使って園でも遊べるように、記名をして持たせてもらう
- ・保護者が附属小学校の入学説明会に参加できるように、延長保育を行う
- ・学年懇談会（3学期のねらいや生活について、のびのび表現会のねらいや取り組みについて、修了式の予定について）

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「カレンダーマーチ」、「風も雪も友達だ」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのゆきまつり」、「せつぶんだまめまきだ」、「つるのおんがえし」
- ・紙芝居・・・「ねことねずみ」、「ひとつがふたつ」、「ハーメルンのふえふき」
- ・素材・・・・・・・・
- ・用具・・・・・・・・
- ・自然・・・・・・・・ヒヤシンス
- ・その他・・・・・・・・数枚のおたよりをおたよりばさみにはさむ

幼児の姿

- ・のびのび表現会に向けて、自分なりに目的をもち、張り切って取り組む姿が見られる
- ・のびのび表現会で、今まで練習してきたことを発揮し、一つの山を乗り越えたことで自信につながった幼児も多い
- ・修了に向けての合奏練習や別れの言葉の練習を通して、修了や入学を楽しみにして待つ姿が見られる。一方、小学校の生活に不安を感じる幼児もいる
- ・友達の良さを見つけ、いろいろな友達や集団にも目を向けかかわっていく
- ・晴れた日には寒さに負けず戸外で遊びを楽しむ幼児が多い
- ・氷を見つけ、手触りを楽しんだり、テラスにおいてその変化を見ようとしたりして、自然現象に興味を示している

ねらい

- ・共通の目的に向かって相談したり協力したりする中で自分の力を発揮する
- ・もうすぐ修了するという自覚をもっていろいろな活動に取り組む
- ・日常生活の中で文字や数量などに関心をもち使おうとする
- ・冬から春にかけての自然現象や動植物に興味や関心をもち、自分からかかわる

内容

- ・生活の流れが分かり、見通しをもって遊びや生活を進めようとする
- ・風邪の予防に関心をもち、手洗い・うがいをすすんでする
- ・気候の変化を体で感じる
- ・自分の役割に責任をもって取り組む
- ・学年全体での取り組みを通して友達と喜びを共有したり、達成感を味わったりする
- ・修了式に向けての活動に積極的に取り組む
- ・劇づくりなどを通して体をつかって表現することを楽しむ
- ・友達と相談してルールを決めて遊んだり、遊び方を教えてあげたり教えてもらったりする
- ・生活の中でルールをつくったりかえたり役割を考えたりしながら、生活をよりよくしようとする
- ・いろいろな友達とのかかわりの中で、相手の気持ちを受け入れる
- ・表現会に向けて友達と一緒に歌を歌ったり合奏をしたりする
- ・友達と一緒に活動する中で生じた課題を話し合い、自分達で解決しながら生活する
- ・3歳児や4歳児と一緒に活動したり会食したりする場を設ける
- ・友達や教師の話を最後までしっかり聞く
- ・感じたことや考えたことを相手に分かるように話す
- ・素材や遊具を目的に合わせて選び、工夫して使う
- ・文字や数量などに関心をもつ
- ・球根の成長を楽しみにする
- ・あられ、みぞれ、雪、氷などに興味をもち、見たり触ったりして遊ぶ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 遊びや活動に見通しをもち、自分から行動できるように修了式までの主なスケジュールを提示しておく
- ◎気温の変化を体で感じ、気温に応じて衣服の調節をしていたりする姿を認める
- のびのび表現会に向けての活動をする場や時間を保障する
- 共通の目的をもって活動することができるように、グループの中で考えたり、工夫したりできる場や時間を保障する
- ◎劇を創作する中で、これまでの経験を生かしてストーリーをつくったり、セリフを考えたりしながら作りあげていくプロセスを大切にする
- ◎劇や合奏の練習などに積極的に取り組む姿を認め、励ましたりほめたりしながら友達と一緒に活動する楽しさを味わわせるようにする
- ◎それぞれの表現を見合ったりしながら、友達の表現の良さを話し合ったり、良さを生かそうとする場や機会を多くもつようにする
- 3歳児や4歳児と一緒に活動したり会食したりする場を設ける
- ◎水栽培や自然現象のことを話題に取り上げる
- ◎文字や数量などに関心をもてるような遊びを提示したりカレンダーや予定表などを意識できるように声をかえたりしていく。

意図的活動

- ・のびのび表現会に向けての練習
- ・修了式に向けての活動
- ・絵画（のびのび表現会）
- ・手づくり昼食

行事など

- ・豆まきのつどい
- ・のびのび表現会
- ・足形とり

健康・安全

- ・風邪の予防に関心を持ち、手洗いうがいをすすんでは
- ・自分達で材料の下ごしらえをしたり、おにぎりをにぎったりして、食への関心をもつ
- ・足形とり

家庭との連携・地域との連携

- ・手づくり昼食に向けて、身支度の準備（三角巾、エプロン、椀、布巾など）をお願いする

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「空より高く」、「はじめのいっほ」、「ドキドキドン一年生」
- ・絵本など・・・「てぶくろをかいに」、「くまのこうちようせんせい」、「はじめてのがっこうたんけん」
- ・紙芝居・・・「鬼がら」、「ゆきのこうま」、「ないたあかおに」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然・・・ヒヤシンス

幼児の姿

- ・修了に向けてのいろいろな活動をする中で、修了や入学を楽しみにする姿が見られる
- ・生活の中で、友達の良さを認めあいながら、協力し合い、共通の目的をもって取り組もうとしている
- ・今まで経験してきたいろいろなことを自分達の力でやり、生活に生かしている
- ・幼稚園生活を振り返り、自分なりに充実感をもっている

ねらい

- ・もうすぐ修了するという自覚をもって生活を進めていく
- ・自分なりの目的をもって修了式に参加する
- ・友達の良さを認めあい、いろいろな友達と共通の目的をもって生活する
- ・自分の力で行動する充実感を味わう

内容

- ・生活の流れが分かり、見通しをもって活動を進める
- ・入学への喜びや期待をもつ
- ・自分の力を十分に発揮し、友達と協力したり工夫したりして生活を進める
- ・修了式に向けての活動を通して、友達の良さに気づき、真似ようとする
- ・いろいろな友達とのかかわりの中で、相手の気持ちを受け入れる
- ・お世話になった人たちへの感謝の気持ちをもつ
- ・修了式や修了式に向けての活動に積極的に取り組む
- ・自分達の生活の場をみんなで協力してかたづけたり掃除したりする
- ・みんなで一つの事をやり逃げた充実感を味わう
- ・文字や数量などに関心をもつ
- ・友達や教師の話を最後までしっかり聞く
- ・園生活を振り返り、思い出深かったことを話し合う
- ・修了式に向けて友達と一緒に歌を歌ったり、合奏したり、お別れの言葉を言ったりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 見通しをもって生活を進めていくことができるよう、修了式までの日数や予定を目に触れやすい場所に提示する
- ◎修了に向けての活動は幼児が無理なく取り組めるように、修了の意味や目的を知らせたり具体的な場面で励ましたりほめたりする
- ◎友達とのかかわりの中で、自分を発揮したり友達の良さに気づいたりできるようにする
- 残り少ない園生活をみんなで楽しんで生活できるような雰囲気をつくる
- 学年全体の活動を大切にしながら、みんなでやり逃げる喜びが味わえるような雰囲気をつくる
- ◎もうすぐ1年生という思いを大切に受け止める
- ◎文字や数量などに関心がもてるように、また保育室内に掲示してある予定表やお別れの言葉などを意識できるように声をかける
- ◎今まで取り組んできた活動の様子（写真など）を提示しておく
- ◎お別れの言葉には、幼児らの感謝の気持ちが表わせるように配慮する
- 一人一人が自分の力を十分に発揮しながら歌を歌ったり、合奏したり、お別れの言葉を言ったりできるように場や時間を保障する

意図的活動

- ・修了式に向けての活動
- ・保育室等の整理整頓、清掃

行事など

- ・修了式
- ・体重測定

健康・安全

- ・体重測定（計測を通して、自分の体に興味をもち、体の成長を喜ぶ）

家庭との連携・地域との連携

- ・個別懇談（保護者と共に幼児の成長を喜ぶ。小学校に向けて配慮する点や課題を伝える）
- ・修了式の参加の仕方や当日の動きについて、事前に知らせておく
- ・幼小連絡会を設定し、幼児が入学後、安心して自分らしさを発揮できるよう、一人一人のよさや配慮点を伝える。

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」、「空より高く」、「こころのねっこ」、「一年生になったら」
- ・絵本など・・・「ぼくは一ねんせいだぞ!」、「いちねんせいのいちにち」、「いもほり籐五郎」
- ・紙芝居・・・「もうすぐ一年生」、「うぐいすひめ」、「いなかのねずみとまちのねずみ」
- ・素材・・・・・・・・
- ・用具・・・・・・・・
- ・自然・・・・・・・・ヒヤシンス

幼児の姿

- ・ 母親と離れる不安やはじめての集団生活や新しい生活への不安などから母親から離れられない幼児がいる
- ・ 新しい生活への不安から処置を必要としないようなけがでも処置を求めてきたり腹痛や頭痛などの身体症状を訴えてくる幼児がいる
- ・ 長期休み明けのため、生活のリズムが整っておらず、朝からあくびをしていたり、不機嫌だったり、表情がすすぐれない幼児がいる
- ・ 園庭では、砂遊びをしたり、マルチパネで遊んだり太陽の下で穏やかに遊ぶ姿が見られる(4・5歳児)
- ・ 冬場使えなかった戸外での固定遊具に挑戦しようとする幼児がいる。危険な使い方をしたり、能力以上の使い方をする幼児もいる(4・5歳児)
- ・ 定期健診が始まる。説明をしっかり聞き、主体的に取り組む幼児がいる反面、不安を抱き、服を脱ぐことを拒んだり、みんなと一緒に行動することを拒んだりする幼児がいる

ねらい

- ・ 園生活を安心して送る
- ・ 身体測定・健康診断を安心して受ける
- ・ 自分のからだに関心をもつ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 長期休み明けのために低くなっている残留塩素を、検査し基準に達するように放水する
- 固定遊具など安全に使えるよう点検し、使用ルールなどを話す
- ◎ 幼児が自分から保育室に入れるよう優しく迎えたり、誘導したりする
- ◎ 不安が強い幼児には、やさしく声をかけたり、スキンシップを取ったりしながら、安心感をもてるように接する
- ◎ 些細なけがで保健室に来た幼児に対しては精神面を考慮しながら処置を施す
- ◎ 心配して付き添ってきた幼児にはその行為を認めながら保健室でのマナーについて伝える
- 安心してスムーズに身体計測や視力検査を受けることができるように、集中して検査できるように幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う
- ◎ 慣れない場所での計測で不安を与えないように、事前に写真等で検査器具を見せて、検査の内容を説明する
- ◎ 検査方法が分からないまたは不安で計測が出来ないなどの幼児に対しては、無理強いせず、個の成長を待ちながら、日を改めて検査をする
- ◎ 保健調査や健康診断の結果、心身の健康上配慮を要する幼児について全職員に共通理解をはかる

保健安全行事

- ・ 身体測定(三計測)
- ・ 視力検査
- ・ 聴力検査
- ・ 内科検診
- ・ 歯科検診
- ・ 尿・寄生虫検査
- ・ 避難訓練
- ・ 安全点検

保健管理

- (心身面)
- ・ 健康診断計画
- ・ 保健調査、緊急連絡先確認
- ・ 救急体制
- ・ 日本スポーツ振興センター加入
- ・ 遠足の準備
- ・ 検診の事後措置
- (環境面)
- ・ 薬品点検
- ・ 保育室・園庭等の安全点検確認
- ・ 飲料水衛生管理検査

家庭との連携 地域との連携

- ・ 幼児と保護者が共に離れられないでいる場合、幼児と保護者が安心して離れられるよう声をかけたり、相談に乗ったりする
- ・ 朝の健康観察の必要性について説明する
- ・ 検診に不安を抱いている幼児と保護者に対して、検診への不安を取り除くようにする
- ・ 健康手帳の使い方について説明する
- ・ 健康調査の結果、健康上配慮が必要な幼児について園での具体的な対処法など打ち合わせる
- ・ 日本スポーツ振興センター給付制度について説明する
- ・ 予防接種について伝える

保健指導

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に手洗いをするので、手洗いの仕方を知る (身体計測・視力検査・聴力検査・耳鼻科検診・内科検診・歯科検診・尿・寄生虫検査) ・計測や各検診を安心して受けることができる ○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測や各検診を安心して受けられるように声をかける
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの仕方、トイレマナーなどが分かり、自分なりに実施できる (身体計測・視力検査・聴力検査・耳鼻科検診・内科検診・歯科検診・尿・寄生虫検査) ・計測や各検診の目的・方法・受け方や約束事(静かにする、名前を言う)を知る、安心して計測を受ける ○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測や各検診を安心して受けられるように声をかける
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの仕方、トイレマナーなどを確認し、実施できる (身体計測・視力検査・聴力検査・耳鼻科検診・内科検診・歯科検診・尿・寄生虫検査) ・計測や各検診の目的・方法・受け方や約束事(静かにする、名前を言う)を守り、正しく計測を受ける ・計測や検査などを通して、自分の体に興味をもつ ○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測や各検診を安心して正しく受けられるように声をかける

食育指導

家庭との連携

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳の飲み方を知る ・手洗い・うがいの仕方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳の嗜好状況を知る ・食物アレルギーの有無や状況の確認
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当の始まりに合わせて、弁当に関する約束やマナーを知る ◎教師と一緒に手洗い・うがいをする ○グループで協力して、弁当の準備をしたり、後片付けをしたりする (椅子の後ろにかばんをかける、ご飯は左、おかずは右、ふたは重ねる、箸は弁当箱の手前、箸箱は弁当箱の上) ◎挨拶をして、感謝して食べることを伝える ◎食べ方や食べた後の過ごし方を知らせる ◎食後に歯磨きを促し、個々に合った磨き方を指導する ○保育室前のプランターで野菜の苗(ミニトマト)を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳の嗜好状況を知る ・食物アレルギーの有無や状況の確認 ・おたよりや懇談会で弁当の内容や量などの留意点を知らせ協力を得る (食べられる量・1段弁当・フルーツなし水筒はコップに注ぐ物・箸・箸箱弁当包み)
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師と共に食べ物に触れたり、食べたりすることを楽しむ ・食べ物や作ってくれた人に感謝して食べる ◎自分で手洗い・うがいをするよう声をかける ○グループで協力して、弁当の準備をしたり、後片付けをしたりする ◎挨拶をして、感謝して食べることを伝える ◎食べ方や食べた後の過ごし方を知らせる ◎食後に歯磨きを促し、個々に合った磨き方を指導する ◎検便と合わせて、排泄に関する話をする ○保育室前のプランターで野菜の苗(さつまいも・ピーマン・キュウリ・ナスなど)を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの有無や状況の確認 ・お便りや懇談会で弁当の内容や量などの留意点を知らせ協力を得る (食べられる量・1段弁当・フルーツなし水筒はコップに注ぐ物・箸・箸箱弁当包み)

幼児の姿

- ・汗をかいて、遊ぶ幼児が増える。しかし、汗の始末が十分でなく、汗をかいていることに気が付いていない幼児もいる
- ・汗のせいで、アトピーやあせもなど湿疹の悪化や虫さされなどにより、皮膚のかゆみを訴え、イライラしたり、落ち着かな幼児がいる
- ・日差しが強くなり、戸外やプール遊びなどで疲れが出てくる幼児がいる
- ・プールや水遊びが始まり、ほとんどの幼児が楽しみにしているが、水に対する恐怖心をもっている幼児もいる
- ・検診をきっかけにからだのことや検診に興味関心をもつ幼児が増える
- ・3歳児の弁当が始まる。楽しみにしている半面、自分で食べる経験が少ない幼児もいる
- ・宿泊体験（わくわくワールド）を前に係活動に取り組み楽しみにしている幼児がいる半面、おねしょの心配や家から離れることの不安を訴えたり、不安から身体の不調（腹痛や頭痛、頻尿、不眠等）が表れる幼児がいる（5歳児）
- ・親子歯磨き講習会をきっかけに自ら進んで、歯磨きに取り組む幼児がいる（4歳児）

ねらい

- ・感染症の予防のためにできることをする（手洗いうがいをし、タオルの共有はしないなど）
- ・汗の始末をしようとする
- ・元気に水遊びを楽しむ
- ・夏の健康に気をつける
- ・弁当準備等の仕方を知る（3歳児）
弁当後の歯磨きを習慣づける
- ・親子歯磨き講習会を受け、歯磨きに関心をもつ（4歳児）

環境の構成（○）と教師の援助（◎）

- ◎自主的に手洗いができている幼児を認め、手洗いをしようとする幼児が増えるような声掛けをする
- ◎トイレのマナー（手洗い、スリッパ、使用方法その他）について話すと同時に現場で直接指導する
- ◎汗を拭くためのタオルが引き出しに入っているかまたきちんと持って帰っているかを確認する
- ◎泥や汚れが付いているけがをしてきた幼児には、水洗いの必要性を知らせながら、洗い方を教える
- ◎プールに入るにあたって、健康情報を保護者から得たり、入水前の健康観察を丁寧に行う
- 感染予防のため、塩素濃度などの水質管理に努める
- 暑さに負けないための基本的な生活習慣について知らせる
- ◎弁当後は歯磨きを促したり、個々にあった磨き方を指導したりする
- ◎弁当時間に個々に食べ方等を知らせ、安心して食べられるよう笑顔で接する（3歳児）
- スムーズに計測や検査を受けることができるように、幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う
- ◎慣れない場所での計測で不安を与えないように、事前に写真等で検査器具を見せて、検査の内容を説明する
- ◎検査方法が分からないまたは不安で計測が出来ないなどの幼児に対しては、無理強いせず、個の成長を待ちながら、日を改めて検査をする
- ◎健康診断の結果、心身の健康上配慮を要する幼児について全職員に共通理解をはかる
- ◎親子歯磨き講習会の参加を呼びかけ、歯の染め出しや仕上げ磨きを経験し、歯磨きと共に仕上げ磨きの必要性について、体験を通して伝える（4歳児）

保健安全行事

- ・耳鼻科検診
- ・眼科検診
- ・体重測定
- ・足形とり
- ・避難訓練
- ・安全点検
- ・親子歯磨き講習会（4歳児）

保健管理

- (心身面)
- ・健康診断計画および事後措置
- ・歯の衛生指導
- ・梅雨時の生活指導
- ・わくわくワールド健康調査
- ・幼児健康診断票記入
- ・感染症対策の共通理解
- ・水遊び・プール遊び時の健康管理(環境面)
- ・プール水質検査
- ・害虫等の駆除
- ・ぬいぐるみ・遊具などの衛生

家庭との連携 地域との連携

- ・プールでのマナーや約束事について知らせると同時に健康管理の必要性を伝える。また、皮膚などの病気になる場合の対応について個別に話す
- ・検診後、異常の疑いのある幼児には専門医の受診を勧める
- ・感染症に関する情報を知らせていく
- ・親子歯磨き講習会の参加協力の呼びかけを行う
- ・わくわくワールドについて、夜尿やアレルギーなどについて保護者に伝え、個別に対応をする。精神的に不安定になっている幼児について対応を共に考える
- ・夏休みの家庭での過ごし方について伝える

保健指導

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの仕方を知り、自分なりにやろうとする (体重測定・耳鼻科検診・眼科検診) ・体重測定や各検診を安心して受けることができる ○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測や各検診を安心して受けられるように声をかける
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの仕方、トイレマナーなどが分かり、自分なりに実施できる (体重測定・耳鼻科検診・眼科検診) ・計測や各検診の目的・方法・受け方や約束事を知る(挨拶をする、大きな声で名前を言う、検査の場所では静かにする)安心して計測を受ける ・計測や検診を通して、自分の体に興味をもつ ○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測や各検診を安心して受けられるように声をかける ◎自分の体に興味をもつことができるように、計測後一人一人に声をかける
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの仕方、トイレマナーなどを再認識し、実施できる (体重測定・耳鼻科検診・眼科検診) ・計測の目的・方法・受け方や約束事を知り守れる(挨拶をする、はっきり名前を言う、検査の場所では静かにする)正しく計測を受ける ・計測や検査などを通して、自分の体に興味をもち、体の成長を喜ぶ ○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎自分の体に興味をもち、成長を喜べるように、計測後一人一人に声をかける

食育指導

家庭との連携

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当の始まりに合わせて、弁当を持参し食べることに期待感をもつ ◎弁当の準備や食べ方などを知らせる ◎教師と一緒に手洗い・うがいをする ◎食後に歯磨きをするよう声をかける ○テーブルを出し、お弁当の準備をしやすいようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの有無や状況の確認 ・おたよりや懇談会で弁当の内容(食中毒予防に配慮等)や量などの留意点を知らせ協力を得る(食べられる量・1段弁当・フルーツなし・水筒はコップに注ぐ物・箸・弁当包み・歯ブラシ)
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当に関する約束やマナーが分かり、実施できる ・みんなで食べることを楽しむ ◎すすんで弁当の準備をするように声をかける ○自分達で弁当の片づけを行う ◎野菜(ミニトマト)の水やりや観察、収穫、試食を教師と共に楽しみながら行い、食べ物に興味をもたせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防に配慮した弁当の内容を知らせ、また、食欲が低下するため、食べられる量や内容にするよう知らせる
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して、食べ物に触れたり、調理したり楽しむ ・食べ物や作ってくれた人に感謝して食べる ○友達と野菜の水やりや観察そして収穫(ピーマン・キュウリ・ナスなど)を楽しみながら行う(宿泊体験) ○みんなで同じメニューを食べる ◎いわなつかみをし、魚の命に感謝して、食べるよう伝える(夏野菜パーティ) ◎野菜を収穫し、食材について関心をもてるように声をかける ○一緒に収穫した野菜の下ごしらえ等が出来るようにテーブルに準備しておく ○テーブルにクロスをかけ、花を飾ったりして、レストランでパーティをしている雰囲気を出す ◎調理を見たり、調理を行う時や、食べる時には5感を使うことを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防に配慮したお弁当の内容を知らせる ・夏野菜パーティ実施にあたり、弁当の準備や花などの提供のお願いを連絡する ・夏休み中の野菜の水やりのお願いをする

幼児の姿

- ・生活のリズムが取り戻せなかったり、夏の疲れが出て体調を崩したり、無気力になったりしている幼児がいる
- ・長い夏休みが明け、登園を渋る幼児がいる
- ・戸外での遊びにじっくり取り組む幼児が多く、遊びの内容も徐々に発展していく
- ・気温・湿度が高いため発汗量が多く、頻繁に水分補給が必要になる
- ・3,4歳児の中には、泥まみれになった体を洗ったり、拭いたり、着替えたりなど自分の力でできない幼児がいる。経験を重ねることによってできるようになってくる幼児もいる
- ・のびのびフェスティバルの練習のため、生活の見通しがもてなかったり、疲れたりして、不安定になる幼児がいる
- ・のびのびフェスティバル（運動会）の練習が始まりけが（すり傷、打撲、鼻血など）が多くなる
- ・のびのびフェスティバル後、再現遊びが続き、引き続き擦り傷などのけがが多い

ねらい

- ・生活のリズムを整え安定して生活する
- ・暑い日の健康管理に気づく
- ・適切なけがの処置を受けようとする
- ・自分の成長や健康状態及びけがなどに関心をもつ
- ・秋を感じながら体を使って戸外で遊ぶ
- ・戸外での遊び後、自分の体を衛生的に保とうとする
- ・けがの処置を知りすんで受けようとする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 毎朝、飲料水検査をし、塩素濃度を確認する
- ◎早寝、早起き、朝ごはんの規則正しい生活の必要性について確認する
- ◎幼児の遊びの様子をみて、汗の始末や水分補給を適切に行う
- ◎けがをした時には、自分でできることをしようとする。また、どうしてけがをしたのか振り返り、話そうとする
- 安心してスムーズに身体計測や視力検査を受けることができ、集中して検査できるように幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う
- ◎身体計測や視力検査などを安心して受けられるように、配慮し、成長や健康状態に関心をもてるように指導する
- ◎慣れない場所での計測で不安を与えないように、事前に写真等で検査器具を見せて、検査の内容を説明する
- ◎検査方法が分からないまたは不安で計測が出来ないなどの幼児に対しては、無理強いせず、個の成長を待ちながら、日を改めて検査をする
- ◎健康診断の結果、心身の健康上配慮を要する幼児について全職員に共通理解をはかる
- ◎実習生と共に、保健指導を吟味し、評価する

保健安全行事

- ・身体計測
- ・視力検査
- ・聴力検査（3歳児）
- ・避難訓練
- ・養護実習
- ・安全点検

保健管理

- (心身面)
- ・健康診断計画および事後措置
- ・熱中症の予防
- ・目の健康の啓発
- (環境面)
- ・飲料水水質検査
- ・害虫等の駆除
- ・園庭整備
- ・遊具の点検、整備
- ・空気検査（ホルムアルデヒド）
- ・照度検査

家庭との連携 地域との連携

- ・規則正しい生活ができるように協力を求める
- ・登園を渋っている幼児と保護者が安心して離れられるように声をかけたり、相談に乗ったりする
- ・けがの適切な処置について指導する。また、けがの処置について個別に説明する
- ・感染症の予防の状況提供
- ・検査後、異常の疑いのある幼児には専門医の受診を勧める
- ・保健指導の内容や幼児の様子を発信し、家庭生活につなぐ

保健指導

3 歳	<p>(身体測定・視力検査・聴力検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定や検査を安心して受けることができる ○スムーズに身体測定や各検査を受けることが出来るように、幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測や各検査を安心して受けられるように指導する
4 歳	<p>(身体測定・視力検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測や検査の目的・方法・受け方や約束事を知る(挨拶をする、大きな声で名前を言う、検査の場所では静かにする)安心して計測を受ける ・計測や検査などを通して、自分の体に興味をもつ ○スムーズに身体測定を受けることが出来るように、幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎体の成長に興味関心がもてるように指導し、一人一人に声をかける
5 歳	<p>(身体測定・視力検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測や検査の目的・方法・受け方や約束事を知り守れる(挨拶をする、はっきり名前を言う、検査の場所では静かにする)正しく計測を受ける ・計測や検査などを通して、自分の体に興味をもち、体の成長を喜ぶ ○スムーズに身体測定を受けることが出来るように、幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎体の成長を喜べるように指導し、一人一人に声をかける

食育指導

家庭との連携

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当の始まりに合わせて、弁当を持参し食べることに期待感をもつ ◎弁当の準備や食べ方などを確認する ○教師と一緒に弁当の準備をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの有無や状況の確認 ・おたよりや懇談会で弁当の内容や量などの留意点を知らせ協力を得る(食べられる量・1段弁当・フルーツなし・水筒はコップに注ぐ物・箸・弁当包み)
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで食べることを楽しみ、食べられないものへも関心をもつ ◎年長組が収穫したサツマイモのつるを見て、サツマイモに関心をもたせる ○教師が調理したサツマイモのつるで作った煮物を味わって食べる場をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防に配慮したお弁当の内容を知らせ、また、食欲が低下するため、食べられる量や内容にしよう知らせる
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師と共に食べ物に触れたり、食べたりすることを楽しむ ・食べ物や作ってくれた人に感謝して食べる ○保育室前のプランターで野菜の苗(二十日ダイコンなど)を植える ○収穫した野菜(サツマイモのつる)の下ごしらえを手伝えるよう、テーブルを準備しておく ○教師が調理したサツマイモのつるの煮物を味わって食べる場をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防に配慮した弁当の内容を知らせ、また、食欲が低下するため、食べられる量や内容にしよう知らせる

幼児の姿

- ・寒くなったことで、天候が悪くなり、戸外で遊ぶ幼児の姿が見られなくなる
- ・寒さや厚着の為、着替えが遅くなる幼児が増える
- ・縦割り活動などで異年齢の幼児との交流で楽しみが増える幼児がいる半面、不安を抱く幼児もいる
- ・風邪気味の幼児や風邪による欠席者が徐々に増えてくる
- ・室内の遊びが中心となり、ハサミや段ボールカッター、きりなどのけがが増える
- ・芋の収穫後の試食、茶会などを通じ、食に関心を高める幼児がいる

ねらい

- ・天気の良い日は積極的に戸外に出て、体を充分に動かして遊ぶ
- ・衣類の調節をし、薄着の習慣を身につけようとする
- ・風邪の予防について関心をもち、手洗い・うがいをする
- ・食への関心を高めたり、感謝の気持ちをもったりする
- ・暖房器具によるけが、事故を防ぎ、安全に生活しようとする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎晴れた日は進んで、戸外で遊んだり、目が向くように声をかける
- ◎気温の変化に応じて生活の仕方を知り、衣類の調節や遊び方を工夫するよう声をかける
- ◎手洗い・うがいを呼びかけ、一緒にしたりする
- ◎戸外で遊んでいる幼児の身体状況を観察する
- ◎個々の体調に応じて衣類を調節するよう声をかける
- 暖房器具の置き場所に配慮したり、柵をする
- ◎暖房器具に注意し安全に生活しなければならないことを伝える
- 室温、湿度に注意し、適宜換気を行う（気温18～20度、湿度30～80%を保つ）
- 計測の結果、心身の健康上配慮を要する幼児について全職員に共通理解をはかる
- 食に関する題材で壁面の掲示をする
- ◎食育指導を行う（実物の食材に見たり触れたり、匂いを嗅いだり、味わったりと五感を使った指導を中心に話をする）

保健安全行事

- ・体重測定
- ・避難訓練

保健管理

- (心身面)
- ・健康診断票記入
- ・インフルエンザ予防接種の勧め
- (環境面)
- ・暖房器具の点検
- ・保育室の換気、湿度、温度の点検

家庭との連携 地域との連携

- ・園舎内の気温や幼児の遊びの様子を伝え、着てくる衣服について指導する
- ・風邪の予防や薄着の習慣について話す
- ・風邪をひいたとき、体調不良時の対応について指導する
- ・インフルエンザ予防接種を推奨する
- ・食育に関して母親にボランティアとして参画してもらったり、内容や様子を発信したり、家庭生活をつなぐ

保健指導

3 歳	<p>(体重測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体重測定を安心して静かに受けることができる <p>○スムーズに体重測定を受けることが出来るように、幼児の動線や並ぶ所や（待機場所が視覚で分かるようにする）スペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う</p> <p>◎計測時に静かに受けられるように指導する</p>
4 歳	<p>(体重測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測時の受け方や約束事を知り守ろうとする（大きな声で名前を言う、検査の場所では静かにする） ・計測を通して、自分の体に興味をもつ <p>○スムーズに体重測定を受けることが出来るように、幼児の動線（待機場所が視覚で分かるようにする）やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う</p> <p>◎自分の体に興味関心をもてるような指導を行い、計測後は一人一人に声をかける</p>
5 歳	<p>(体重測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測時の受け方や約束事を知り守る（はっきりと名前を言う、検査の場所では静かにする） ・計測を通して、自分の体に興味をもち、体の成長を喜ぶ <p>○スムーズに体重測定を受けることが出来るように、幼児の動線（待機場所が分かるようにする）やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う</p> <p>◎体に興味関心をもち、体の成長を喜べるように指導を行い、計測後は一人一人に声をかける</p>

食育指導

家庭との連携

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで食べることに安心感や楽しさを感じる ・弁当を食べ終えるまで、立ち歩いたりせず、最後まで食べる ・旬の果物に関心をもち、みんなで食べる楽しさやおいしさを経験する（リンゴ等） <p>◎旬の果物を題材とした絵本をよみ、果物を準備しておく</p> <p>○教師が切った果物をみんなで、食べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無や食生活（食べた経験）を確認する ・園での様子をおたより等で知ってもらう
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで食べることを楽しみ、食べられないものへも関心をもつ <p>◎弁当を早く食べ終えても、友達に迷惑をかけないように気をつけるよう伝える（きんぴらごぼう等）</p> <p>○土がついて収穫した根菜類を見たり、触ったりできるように用意しておく</p> <p>◎根菜類に関心をもち、調理したきんぴらごぼうを奥歯で噛むことを意識するよう声かけをする（味噌汁昼食）</p> <p>○収穫して土がついた野菜を見たり、触ったりできるように用意しておく</p> <p>○お母さんボランティアに作ってもらった味噌汁をみんなで食べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無を確認する ・園での様子をおたより等で知ってもらう ・母親にお菓子作りや茶会、もちつき、味噌汁昼食に参画してもらい、子ども達の食べる様子を見てもらう
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・箸の正しい持ち方を知り、正しく持とうとする ・収穫した野菜の下ごしらえを手伝い、あじわう（芋菓子作りなど） ・もちつきに参加し、調理を手伝う <p>○正しい箸の持ち方の写真等を準備する</p> <p>◎正しく箸を持つことを意識するよう声をかける</p> <p>◎調理器具を使う時の安全に注意する（味噌汁昼食）</p> <p>○収穫して土がついた野菜を見たり、触ったりできるように用意しておく</p> <p>○お母さんボランティアに作ってもらった味噌汁をみんなで食べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無を確認する ・園での様子をおたより等で知ってもらう ・家での箸の持ち方について、話す

幼児の姿

- ・冬休みの不規則な生活から生活のリズムを取り戻せない幼児がいる
- ・風邪症状の幼児が増えてくる
- ・インフルエンザ等の感染症が流行し始め、突然高熱や嘔吐などの症状を出す幼児がいる
- ・のびのび表現会や修了式の練習が始まり、生活が変わり、不安定になる幼児がいる
- ・うがいの実践は定着しつつあるが、まだまだ声かけなしには出来ない幼児もいる
- ・雪が積もり、戸外での雪遊びを楽しむ幼児がいる一方、雪遊びの楽しさを経験出来ない幼児がいる
- ・天候が悪くなり室内での活動が多くなり運動不足になりやすい
- ・のびのび表現会に向け、積極的に取り組んだり、楽しんだりする幼児が多い
- ・のびのび表現会をきっかけに、活動範囲が広がり、年中児や年長児をまね、能力以上のことに挑戦する場面も増えてくる。そのためにけがも多くなってくる（3歳児）
- ・風邪の予防のためのうがいが定着してくる反面、うがいがマンネリ化し、おろそかになってくる幼児もいる
- ・のびのび表現会や修了式に向けて、大きくはっきり声を出す経験が増える。そのため、周りの幼児が声の出し方や発音の不明瞭な幼児に気づくこともある
- ・毎日、のびのび表現会や修了式の練習がくり返されるうちに徐々に緊張感が高まったり、不安がつつたり、体調を崩す幼児がみられる（腹痛、便秘、下痢、頻尿、爪かみ、指しゃぶりなど）（4,5歳児）
- ・進級を励みにし、自覚を高めている幼児が多い。反面、必要以上の負担を感じ、中には頻尿、夜尿、膀胱炎、喘息発作、アトピーの悪化などの症状が出てくる幼児もいる
- ・気温も徐々に上がり、天候のよい日が多くなると自主的に園庭に出て遊ぶ幼児が増えてくる一方、室内で遊ぶことに慣れ戸外に出向こうとしない幼児もいる

ねらい

- ・生活のリズムを整える（早寝、早起きを心がける）
- ・風邪の予防、悪化の防止を心がける
- ・寒さに負けず元気に過ごす
- ・暖房器具によるけがや事故を防ぎ安全に生活しようとする
- ・手づくり昼食や味噌汁昼食を通じて、みんなで食べる楽しさを味わう（4、5歳児）
- ・足形をとり、自分の足に関心をもつ
- ・自分の体の成長を知り、喜ぶ
- ・天気の良い日は戸外で元気に遊ぶ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎早寝早起きを心がけ生活のリズムと体調を整えるよう話す
- 室温、湿度を適当に保ち、換気を心がける
- 室内の空気検査をする
- ◎幼児の健康状態を常時観察し、異常の早期発見と重症化の防止に心がける
- インフルエンザが疑われた場合、蔓延防止のため早期の隔離（早退）をする
- インフルエンザの蔓延状況を把握し園医にアドバイスを受け、適切に対応をする
- ◎のびのび表現会や修了式の練習に安心して、取り組めるように個々への援助をする
- ◎雪遊びの後の衣類の始末について声をかけたり、援助したりする
- ◎幼児の訴える風邪症状が悪化しないように保護者と協力しながら対応していく
- ◎のびのび表現会や修了式の練習のため、生活が変わることにより不安定な症状を訴える場合、保護者と協力しながらフォローしていく
- 廊下や室内が滑りやすくなっていないかなど安全面を確認し対応する
- ◎のびのび表現会や修了式の練習の最中の健康観察を行い、異常の早期発見、早期対応に努める。また、体調不良時の対処法を個々に応じてあるいは具体的に知らせる
- ◎のびのび表現会や修了式の練習で声の出し方や発音が不明瞭で気にしている幼児や周囲の幼児に対して気にせず安心して、練習が出来るように、また声をかける
- ◎1年間、3年間の成長、健康状態が分かるように健康手帳をまとめる

保健安全行事

- ・身体計測
- ・空気検査
- ・避難訓練
- ・足形とり
- ・安全点検

保健管理

- (心身面)
- ・インフルエンザ蔓延予防（インフルエンザ予防接種の勧めなど）
- (環境面)
- ・空気検査
- ・暖房器具の点検
- ・保育室の換気、湿度、温度の点検
- ・ぬいぐるみ、遊具などの衛生

家庭との連携 地域との連携

- ・朝の健康観察の徹底と異常の早期発見、早期対応を心がけるよう指導する
- ・インフルエンザの出席停止の対応について再度説明し、また、インフルエンザ等感染症の蔓延状況を伝える
- ・親子で成長を喜びあえるよう健康手帳をまとめ、配布する
- ・修了式に向け健康管理の徹底を呼び掛ける
- ・修了時に足形の記録を綴り、渡す（5歳児）
- ・個人懇談の際に、個々の足形を知らせる（3、4歳児）

保健指導

3 歳	<p>1 月身体測定時の保健指導…鼻のかみ方、かぜ予防について等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鼻のかみ方を知り、やってみようとする (身体測定) ・計測時の受け方や約束事を知り守ろうとする（静かに待ち、自分の順番が来たら名前を言う） <p>○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎計測を安心して受けられるように指導する</p>
4 歳	<p>1 月の身体測定時の保健指導…かぜ予防について（うがいの仕方）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぜの予防のために、のどの奥をうがいできれいにすることを知り、実践する (身体測定) ・計測時の受け方や約束事を知り守ろうとする（大きな声で名前を言う、検査の場所では静かにする） ・計測を通して、自分の体に興味をもつ <p>○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎体の成長に興味を持てるような指導を行い、計測後は一人一人に声をかける</p>
5 歳	<p>1 月身体測定時の保健指導…大きくなるからだ、風邪予防について等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体や心の成長を知り、喜ぶ (身体測定) ・計測時の受け方や約束事を知り守る（はっきり大きな声で名前を言う、検査の場所では静かにする） ・計測を通して、自分の体に興味をもち、体の成長を喜ぶ <p>○幼児の動線やスペースに配慮し、正確に検査できるように会場の設営を行う ◎体の成長を喜べるような指導を行い、計測後は一人一人に声をかける</p>

食育指導

家庭との連携

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで食べることに安心感や楽しさを感じる ・弁当を食べ終えるまで、立ち歩いたりせず、最後まで食べる <p>◎自分で弁当の準備や片づけができるように個別に声をかける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無を確認する ・園での様子をおたより等で知らせる
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで食べることを楽しみ、食べられないものへも関心をもつ ・弁当を早く食べ終えても、友達に迷惑をかけないように気をつける <p>(味噌汁昼食)</p> <p>○収穫して土がついた野菜を見たり、触ったりできるように用意しておく ◎味噌汁で、苦手な野菜があり、食べることが進まない子には、無理をせずに、食べられる量だけ食べるように声をかける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無を確認する ・園での様子をおたより等で知らせる ・母親に味噌汁昼食づくりに参画してもらう
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して、食べ物に触れたり、調理したり楽しむ ・友達や教師と一緒に、マナーを守って気持ちよく食事をする (手づくり昼食) <p>○役割分担を決め、表を作成し、掲示しておく ◎調理器具を使う時などの安全に注意する ◎食材を見せて、下ごしらえの役割を確認する ◎一緒に下ごしらえをしながら、食材について関心をもち、調理が楽しみになるような声かけをする ○ご飯が炊ける匂いがかぐことで、お米の変化を感じたり、みんなで食べることが楽しみになるように炊飯器を保育室に設置する ◎おにぎりを作る時には、感情を込めることで、美味しくなることを伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの有無を確認する ・園での様子をおたより等で知らせる ・ボランティアを募り、母親に手づくり昼食づくりの手伝いに参画してもらう

歌・手遊び歌

	4月	5月	6月	7月
3歳	小さな庭 こいのぼり チューリップ ちょうちょ ちいさないのち そらとべあおむしくん	すきすきお母さん こりのうた のねずみ 一本と一本で おはなしゆびさん とうさんゆびどこです	ひっこしかたつむり かたつむり めだか かえるのうた あめふり	たなばた うみ きらきら星 しゃぼんだま
4歳	園歌 ゆめにむかって 春をみつけた こいのぼり ちいさないのち はるはともだち ちいさな庭	こいのぼり すきすきおかあさん みどりのマーチ おひさまパワー	ひっこしかたつむり 大きい手をしたおとうさん かたつむり とけいのうた	たなばた 天の川の上で
5歳	園歌 ゆめにむかって ハローはすてきなごあいさつ こいのぼり ちいさないのち さんぽ そらとべあおむしくん	おひさまパワー うたえバンバン 手のひらを太陽に	にじ あめふり水族館 翼をください 遠き山に日は落ちて もえろよもえろ	宇宙は楽しいフェスティバル だれかがほしを見ていた

	9月	10月	11月	12月
3歳	園歌 ぶんぶんぶん くいしんぼうのゴリラ おつかいありさん	どんぐりころころ やおやのおみせ キャベツのなかから 5つのメロンパン	おもちゃのチャチャチャ 楽しいね あたまかたひざポン やきいもグーチーパー	あわてんぼうのサンタクロース 赤鼻のトナカイ もちつき お正月
4歳	パワフルパワー かけっこファイト とんぼのめがね 元気だよ むしのこえ	わいわい運動会 やきいもグーチーパー どんぐりころころ くりのみロック	やまのごちそう もみじ たきび	クリスマスがやってくる やったー！サンタがやってくる 赤鼻のトナカイ ジングルベル お正月
5歳	ワイワイうんどうかい パレード 青い空に絵をかこう	パワフルパワー あきってすてきなおとがする 虫のこえ	まっかなあき 山のごちそう 大きな古時計	サンタが町にやってくる ヤッター！サンタがやってくる

	1月	2月	3月
3歳	やぎさんゆうびん ゆき まめまき	園歌 ゆめにむかって ふしぎなポケット うれしいひなまつり はるよこい	園歌 ゆめにむかって はるがきた ピクニック
4歳	北風小僧の寒太郎 えりまきこれっくらい ゆき まめまき 鬼のパンツ	うれしいひなまつり コンコンシャンのうた 空より高く 園歌 ゆめにむかって 君も心の翼広げて	園歌 ゆめにむかって 空より高く ハローはすてきなごあいさつ きみたち今日から友達だ 春の小川
5歳	カレンダーマーチ 冬も雪も友達だ	空より高く はじめのいっぽ ドキドキン一年生	園歌 ゆめにむかって 空より高く こころのねっこ 一年生になったら

絵本・紙芝居

		4月	5月	6月	7月
3歳	絵本	あくしゅでギョッ いっしょにあそぼ こです！	ころわんとこいのぼり ころわんとふわふわ	どろんこ どろんこ！ おとうさん こぐまちゃんのみずあそび びよーん	うさぎちゃんうみへいく ころわんとしろいくも
	紙芝居	ごあいさつできた！ チュールリップさんありがとう	きょうはだいちなひ するするおかあさん	おばけのアメーバー うさぎのみみこにじんいっばい	くじらクン バナナのくにのバナナひめ みつこのおばけのバビ・ブベ・ポー
4歳	絵本	ぐりとぐらのえんそく くるんぼのようちえん	999ひきのかえる おたまじゃくしの101ちゃん 10ひきのかえる	どろだんご お父さんの大きい手	10ひきのかえるのなつまつり スイミー
	紙芝居	みんないるかな おともだちいっばい	さっちゃんのカーネーション おうさまとことりたち	ババだいすき あめのひはやさしく	ねがいごとはないよのひみつ たんざくにおねがいかいて
5歳	絵本	たんぼぼ ちいさなたんけんたい わんぱくだんのかくれんぼ	やさいのたね ダンゴムシ 宇宙旅行	わんぱくだんのはしれいちばんぼし ちいさなきいろいかさ ジャックと豆の木	あっちゃんのはたけ わんぱくだんのかいていたんけん
	紙芝居	はるのおきゃくさん どうしてこいのぼりあげるの	ママにはないよね おかえりつぼめさん	とけいじいさんのとけい ふしぎなきゆうり	ほしとりきつちよむさん たなばたさま おぼれたカッパ

		9月	10月	11月	12月
3歳	絵本	ありんこちいちゃん コロちゃんのかいすいよく	いもほり ころわんとちくちくもじよ	おおかみと7ひきのこやぎ おおきななぶ さんびきのやぎのがらがらどん	くまじいちゃんのクリスマス さんびきのくま
	紙芝居	ぶどうだいすきぱんちゅるん バナナがいっぼん	コロちゃんの遠足おおさわぎ いものきょうだい	ぼんやとおうさま 七五三おめでどう にげたくれよん	どうぞのいす くまのマックのプレゼント
4歳	絵本	とんぼのうんどうかい よーいどん！ からすのぼんやさん うんどうかいがはじまった	あしたえんそくだから ねずみのえんそく もぐらのえんそく だんまりこおろぎ	ヒッコリーのきのみ ねずみのいもほり ぼんたのじどうはんばいき	あのね、サンタのくにでは… ぐりとぐらのいねんかん おせちのおしょうがつ おぼあちゃんのおしょうがつ
	紙芝居	まほうのこなぐすり うんどうかいってたのしいな	おちぼのようふくださいな ももたろう	ロボットたいちよう おおきななぶ	すべってころんで わらしべ長者
5歳	絵本	うんどうかいがはじまった とんぼのグライダー	さつまいも	わんぱくだんのロボットランド ともだちや	わんぱくだんのクリスマス 十二支のおはなし かさじぞう
	紙芝居	てんからおだんご つきみだんごとまほうのぼうし	カメレオンの王さま ばけらべ	はなをおつたてんぐ らいおんのめがね	えほんのパーティ いちばんはじめのサンタクロース

		1月	2月	3月
3歳	絵本	しょうぼうじどうしゃじぶた てぶくろ おなかのなかにおにがいる	ねずみのおいしやさま かさじぞう ももたろう ころわんはおにいちゃん	ころわんとふわふわ はなさかじいさん ぞうくんのブランコ
	紙芝居	くまくんはみかんがきらい？ たべてみたいなおほしさま	ねずみのせつぶん むかしむかしおにがきた	ひなのやまかご きたなひめ
4歳	絵本	100ひきのくまさん ねずみのさかなつり	ねずみのおいしやさま 10ひきのかえるのふゆごもり ふくはうち おにもうち	はるのおともだち はだかのおうさま
	紙芝居	ぞうさんのねんがじょう ぱくだんのおまんじゅう	おなかのなかにおにがいる まめろくとおに	うぐいすのふえ こどものきらいなおおおとこ
5歳	絵本	わんぱくだんのゆきまつり せつぶんだまめまきだ	てぶくろをかいに くまのこうちようせんせい はじめてのがっこうたんけん	ぼくは一ねんせいだぞ！
	紙芝居	ねことねずみ ひとつがふたつ	鬼から ゆきのこうま ないたあかおに	もうすぐ一年生 うぐいすのひめ

素材・用具

		4月	5月	6月	7月
3歳	素材	自由画帳	包装紙 画用紙	空き箱	空容器
	用具	クレヨン	マジック セロハンテープ	のり 下敷き紙 製作タオル	
4歳	素材	新聞紙 包装紙 画用紙 空き箱	プラスチック容器 タフロープ	段ボール	折り紙 モール 紙コップ
	用具	セロハンテープ、ガムテープ クレヨン マジック ハサミ のり 下敷き紙 製作タオル	ボンド 水性マジック 水彩絵の具 ふで ホッチキス	段ボールカッター	めうち
5歳	素材	布	紙粘土 緩衝材 磁石 針金	モール フェルト カラーひも 片面段ボール	折り紙
	用具	アクリル絵の具 虫眼鏡	両面テープ	ボンド	水彩絵の具 筆

		9月	10月	11月	12月
3歳	素材	牛乳パック	粘土	新聞紙	色画用紙 モール
	用具	めうち	粘土板		はさみ
4歳	素材	透明シート		工作用紙	リボン モール 毛糸
	用具				
5歳	素材	不織布		木版 くぎ たこ糸	藁のつるのリース
	用具	鉛筆		きり めうち のこぎり かなづち 木の突穴あけセット かなづち 針	

		1月	2月	3月
3歳	素材	タフロープ	折り紙	
	用具		粘土べら	
4歳	素材	輪ゴム		和紙 フラワーペーパー フラワーテープ 針金
	用具			
5歳	素材			
	用具			

園庭に見られる自然

4月	5月	6月	7月
			セミ
	テントウムシ	カブトムシ クワガタムシ	
	カタツムリ	クモ	
	カエル	カマキリ	バッタ
あり			
ダンゴムシ			
オタマジャクシ			
さくら	藤	藤の実	
たんぽぽ			ひまわり
チューリップ		あじさい	
クローバー		つゆ草	

9月	10月	11月	12月
コオロギ			
カマキリ			
バッタ			
あり			
藤の実	柿		
ひまわり	どんぐり		
つゆ草			
			雪

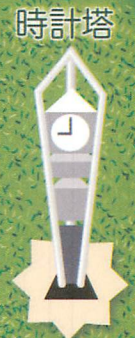
1月	2月	3月
氷		
雪		



金沢大学附属幼稚園

〒921-8105 石川県金沢市平和町1-1-15
 ☎ 076-226-2171 📠 076-226-2172

- 敷地面積
 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属学校平和町地区敷地
 79,880平方メートルの内の一部
 約3,000平方メートル
- 建物面積
 922平方メートル



正門